

重要文化財  
青森県是川遺跡出土品  
保存修理報告書



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

重要文化財  
青森県是川遺跡出土品  
保存修理報告書

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

## 目 次

1. 指定の概要	1
2. 是川遺跡と出土品の概要	3
3. 保存修理の方法	7
4. 保存修理の履歴	13
昭和年間指定品 第1期保存修理	18
昭和年間指定品 第2期保存修理	26
平成年間指定品 第1期保存修理	36
平成年間指定品 第2期保存修理	44
平成年間指定品 第3期保存修理	52
修理一覧	60
5. 保存台座・保存箱	73
6. 収蔵管理	85
7. 参考文献	87
8. 重要文化財指定書	88

## 例 言

1. 本書は、重要文化財「青森県是川遺跡出土品」の保存修理について報告するものである。
2. 資料名は、重要文化財指定目録に従っている。
3. 資料画像の一部は保存修理時のフィルムやプリントを用いたため、退色や汚損がある。
4. 資料画像には、是川縄文館収蔵資料データベースの収蔵No. (ID)を併記した。
5. これらの資料は、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（八戸市大字是川字横山1 TEL 0178-38-9511）において収蔵、展示している。

## 1. 指定の概要

重要文化財に指定されている是川遺跡出土品は、泉山氏による大正から昭和年間の発掘品と、八戸市による平成年間の発掘調査出土品がある。前者は、1962（昭和 37）年 2 月 2 日に「陸奥国是川遺跡出土品」として 633 点が重要文化財に指定されている。後者は、2011（平成 23）年 6 月 27 日に「青森県是川遺跡出土品」として主名称の旧国名を県名に改めるとともに、330 点が重要文化財に追加指定された。

名称：	青森県是川遺跡出土品
員数：	一括
種別：	考古資料
国：	日本
時代：	縄文
指定番号：	00242
国宝・重文区分：	重要文化財
重文指定年月日：	1962.02.02(昭和 37.02.02)
追加年月日：	2011.06.27(平成 23.06.27)
所在都道府県：	青森県
所在地：	八戸市大字是川字横山 1
保管施設の名称：	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
所有者名：	八戸市

(国指定文化財等データベース <https://kunishitei.bunka.go.jp/bsys/maindetails/201/9843> より 2026.2.8 取得)

### ○概要（2011 年追加指定の八戸市報道発表資料）

是川中居遺跡の出土品は、昭和 37 年に 633 点が「陸奥国是川遺跡出土品」として重要文化財に指定されている。その後、平成 5 年の縄文学習館建設予定地調査、平成 11～16 年の遺跡の範囲・内容確認のための発掘調査によって、これらの遺構の内外から多数の土器類・石器類、特に低湿地の捨て場からは木製品や漆製品など植物質の遺物が大量に出土した。この出土品のうち 330 点が今回追加指定を受けることとなった。

追加指定品の内容は、縄文時代晩期を主体とした土器・土製品類 109 点、木製容器・篋形木製品・ヤス軸柄などの木器・木製品類 72 点、籃胎漆器・木胎漆器・弓・櫛などの漆製品 80 点、磨製石斧・石匙・石刀等の石器・石製品類 61 点、刺突具・垂飾など骨角製品類 8 点で構成される。

漆製品は遺存状態が良好なもの多数を含み、容器・狩猟具・装身具など多種多様であり、黒漆の上に赤漆を重ね塗りする技術は、その水準も極めて高い。また木製品には、数本が束ねられた状態で出土したヤス軸柄や、石斧柄などがあり、狩猟や伐採といった生業活動の復元、それらの形態的特徴の研究、さらに樹種同定の結果などによる縄文時代の樹木利用の実態を知るための資料となっている。

以上本件は、わが国を代表する縄文時代晩期の集落遺跡出土品として、生業や漆工芸技術、精神活動を復元するうえで貴重な資料である。

指定の概要 (2)

○重要文化財の追加指定時の官報 (平成 23 年 6 月 23 日付 号外第 136 号)

○文部科学省告示第百十号  
 文化財保護法(昭和二十五年法律第二百十四号)第二十七条第一項の規定により、次の表の上欄に掲げる重要文化財に同表下欄のように重要文化財に指定する。  
 平成二十三年六月二十七日  
 文部科学大臣 高木 義明  
 (考古資料の部)

上	中	下	欄
<p>陸奥国是川遺跡出土品</p> <p>一、土器類                      甕形土器 十箇                      壺形土器 百二十一箇                      鉢形土器 八十箇                      皿形土器 七箇                      注口土器 六十一箇                      台付土器 四十一箇                      香炉形土器 七箇                      釣手付土器 一箇                      小形土器 十五箇</p> <p>一、石器類                      磨製石斧 三十三箇                      石鏃・石鏃等 七十七箇                      石剣・石棒等 八本                      青龍刀形石器 一本                      石皿・蔽石等 二十二箇</p> <p>一、木器類                      赤漆耳飾 三箇                      赤漆銅 残欠共 四箇分                      赤漆柳頭部残欠 四枚分                      赤漆麁尾様木製品 一本                      赤漆弓 三張                      弓 残欠共 二張分                      篋胎漆器 残欠共 二箇分                      赤漆高杯残欠 一箇分                      樹皮製容器残欠 一箇分                      篋形木製品 残欠共 十八本分</p> <p>一、漆塗銅残欠 一箇                      一、土製耳飾 十二箇                      一、土偶 残欠共 五十箇                      一、土版 残欠 三十二箇                      一、土版残欠 一箇                      一、岩版 残欠共 十箇                      一、鈴形土製品 一箇                      一、甕形土製品 三箇</p>	<p>昭和三十                      七年文化                      財保護委                      員会告示                      第五号</p> <p>青森県是川遺跡出土品                      一、土器・土製品 百九点                      一、木器・木製品 七十二点                      一、漆製品 八十点                      一、石器・石製品 六十一点                      一、骨角製品 八点                      (以上平成五・十一〜十六年出土)</p>	<p>青森県是川遺跡出土品                      一、土器・土製品 三百九十三点                      一、木器・木製品 十九点                      一、漆製品 二十一点                      一、石器・石製品 二百点                      (以上大正・昭和年間出土)</p> <p>一、土器・土製品 百九点                      一、木器・木製品 七十二点                      一、漆製品 八十点                      一、石器・石製品 六十一点                      一、骨角製品 八点                      (以上平成五・十一〜十六年出土)</p>	<p>所有者                      八戸市(八                      戸市埋蔵文                      化財セン                      夕)是川                      文館保管)</p> <p>所有者の住所                      青森県八戸市                      内丸一丁目一</p>

## 2. 是川遺跡と出土品の概要

是川遺跡は、青森県の太平洋側に位置する八戸市の是川地区に所在する、縄文時代を中心とした集落遺跡である。是川遺跡は、縄文時代前期後半から後期前葉の一王寺遺跡、中期末の堀田遺跡、後期末から晩期の中居遺跡という3遺跡の総称である。

1897（明治30）年には人類学者の八木装三郎により土偶の出土が伝えられ、人類学者の石田収蔵による1913（大正2）年の発掘を皮切りに、土地所有者の泉山氏や、大山史前学研究所、東北帝国大学によって発掘が行われ、一王寺・堀田・中居のそれぞれで重要な発見があった。

一王寺遺跡では縄文時代の貝塚が発見され、貝層から見つかった土器を下層式、その上部の地層から見つかった土器を上層式として円筒式土器が設定された。堀田遺跡は、宋銭と縄文土器の共伴から、縄文時代の終末を巡る「ミネルヴァ論争」の舞台となった。そして中居遺跡は、かつて「特殊泥炭層」と呼ばれた低湿地の中から、鮮やかな漆器や木製品が当時の形のまま多数出土し、先史時代のイメージを一新した遺跡として知られている。1932（昭和7）年には、その重要性と保存を伝える「是川遺跡記念碑」が建立され、遺跡は1957（昭和32）年に「是川石器時代遺跡」として国史跡に指定された。

1961（昭和36）年に泉山家は、全ての出土品を八戸市に寄贈し、市は是川遺跡出土品の目録作成と適切な保存を担うこととなった。目録の作成は慶應義塾大学考古学研究室と地元の研究者によって進められ、翌1962（昭和37）年には出土品のうち633点が「陸奥国是川遺跡出土品」として重要文化財に指定された。これらの出土品は、1963（昭和38）年に開館した是川考古館に収蔵展示された。

1975（昭和50）年に、是川考古館に隣接して八戸市歴史民俗資料館が設置され、是川遺跡出土品に加えて、八戸の考古・歴史・民俗資料が展示された。1983（昭和58）年の八戸市博物館開館以降は、



奥羽北部ノ地由來石器時代遺跡  
ニ當リ其土器ニ現レタル工藝ノ  
進歩實ニ世界ニ冠タルモノアリ  
就中此是川遺跡ハ中居一王寺堀  
田相接連シテ各系統ヲ異ニスル  
遺物ヲ藏シ特ニ中居泉山氏邸内  
ヨリハ優劣ナル多數ノ植物性遺  
物ヲ發掘シテ從來知らレザリシ  
當時ノ文化ノ一面ヲ學界ニ紹介  
シ又堀田ノ遺蹟ヨリハ古銭ヲ發  
見シテ是ガ絶對年代ヲ推定スル  
ノ好資料ヲ提供セリ八戸郷土研  
究會其ノ址ノ湮滅ヲ慮レ木山翁  
ノ揮毫ト捐資トヲ請ヒ碑ヲ樹テ  
テ之ヲ後世ニ傳ヘントス  
昭和七年秋  
喜田貞吉撰  
小井川澤三郎書

是川遺跡記念碑



大正・昭和年間の発掘風景



空からみた是川遺跡  
JOMON ARCHIVES より

是川考古館と八戸市歴史民俗資料館を一体として是川遺跡出土品の展示収蔵スペースを拡充し、更なる展示の充実が図られた。また、1994（平成6）年には、隣接して体験学習機能を備えた縄文学習館が設置され、是川遺跡出土品の保存・展示・活用が現地で一体的に行われるようになっている。

八戸市は、1997（平成9）年に「是川縄文の里整備構想」を策定し、同構想を元に、1999（平成11）年から中居遺跡の本格的な発掘調査を行った。発掘調査は、低湿地から始まり、台地の未調査部分へと進められ、低湿地からは縄文時代晩期前半の土器・土偶・木製品・漆製品・編組製品・木材が当時の色彩や形状を保ったまま出土した。台地部分では竪穴建物跡や土坑墓のほか配石遺構を検出し、中居遺跡が多様な施設を有する縄文時代晩期の集落跡であることが確認されたのである。こうした発掘調査の成果により史跡の追加指定がなされ、出土品は2011（平成23）年に「青森県是川遺跡出土品」として重要文化財に追加指定された。

八戸市はこうした発掘調査の成果を展示公開し、是川遺跡の史跡整備を推進する中核施設として、2011（平成23）年に、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館を設置した。青森県是川遺跡出土品は、是川縄文館の常設展示の核として収蔵・展示を行うとともに、活用・体験の拡充や出土品の調査研究を積極的に推し進めている。

中居遺跡は、現在は集落全体と北側に面する長田沢が史跡指定され、平成30年に八戸市が策定した『史跡是川石器時代遺跡第1期整備基本計画』に基づく史跡整備によって、史跡と出土品の一体的な保存・活用を目指している。



土器 (壺・注口)



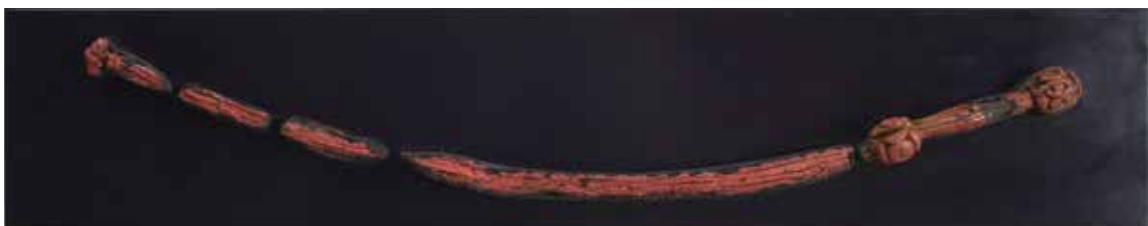
赤色漆塗り土器 (壺・注口)



腕輪・耳飾り・櫛・編布



篋形木製品



飾り太刀



耳飾り



腕輪



木製品 (石斧柄・ヤス軸・掘り棒・飾り太刀)



壺形土器



皿形土器



遮光器土偶

### 3. 保存修理の方法

是川遺跡出土品の中で、昭和年間指定品は発掘後、そのまま保存されていたか、所有者による接合など仮修理が施された状態であった。保存修理は、これらの漆製品や木製品に樹脂の塗布による強化のほか、形状を維持し、全体的な強度を確保するため、欠失部が樹脂で補填された。欠失部の復元・文様の補刻は、残存部や類似資料を元に行っている。

平成年間指定品からは、修理前にX線による透過撮影を行い、表面から見えない内部のひび割れを確認した上で、適切な修理を施している。漆製品や木製品は、出土後に保存処理が施されているが、時間の経過により状態が変化しているものもあるため、保存修理の中で再処理を行い、全体を強化するものもある。

欠失部の補填や復元は、美装化とも呼ばれるが、使用時（縄文時代）の意図的な損壊や補修痕はそのまま保存することを基本とし、復元する場合は、残存部や類似資料を元にし、補填・復元箇所の補彩は彩度を下げたり、内面で判別できる色彩とするなど修理の有無が判別できるよう施工している。

資料のうち、複雑で不安定な形状のものは、より安全に保存するために、資料に合わせた台座や、劣化や損傷を防ぐため箱を作製している。

各修理段階において、使用した樹脂や薬品の種類をはじめ、各工程の記録と撮影を行い、過程を記録している。なお、保存修理に当たっては、修理工房現地にて、文化庁・八戸市・施工業者で修理着手前の修理方針の確認、修理状況の確認、完了検査を行っている。保存修理の基本工程は以下の通り。

#### （計画作成）

- 資料の状態確認と記録作成
- 保存修理計画の作成と検討

#### （事前準備）

- 資料の状態確認と記録及び撮影
- 保存修理用調書の作成
- 保存台座の形状・レイアウト案の作成
- 保存修理委託仕様書の作成

#### （保存修理）

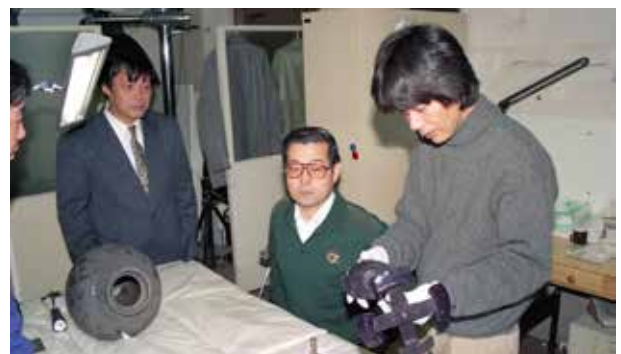
- 状態確認・X線撮影
- 修理方針の確認・修理箇所の決定
- クリーニング
- 接合個体の解体
- 脆弱部強化（破断面・ヒビ・塗膜・付着物等）
- 再保存処理（樹脂含浸等）
- 再接合
- 欠失部の樹脂補填・復元
- 樹脂補填・復元箇所の文様補刻
- 樹脂補填・復元箇所への補彩

#### （保存台座・保存箱）

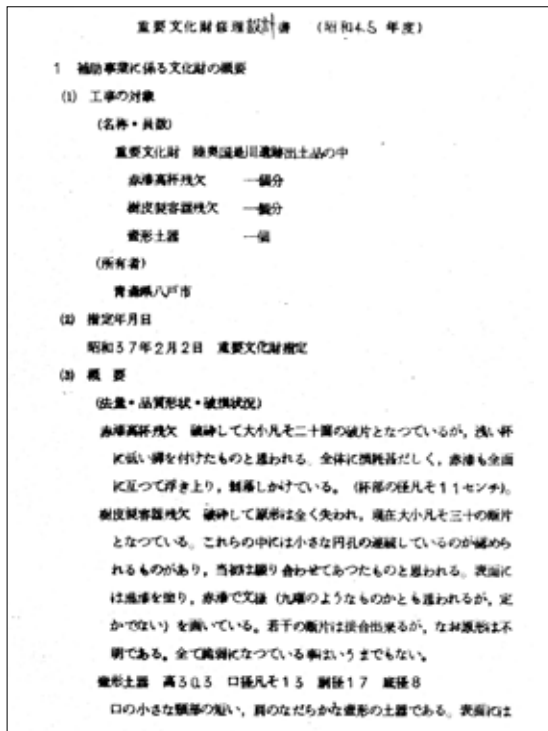
- 資料形状に合わせた台座の作製
- 資料を保存するための箱の作製

#### （収蔵管理）

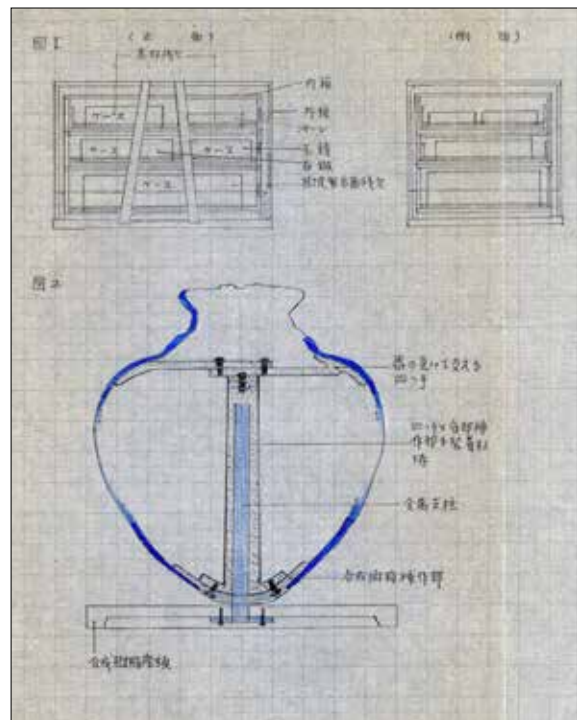
- 修理後の撮影
- データベースの修正
- 収蔵保管
- 状態確認



修理指導のようす（1994年度）



修理設計書 (1970年度)



修理設計書 (1970年度)



修理前写真 (1994年度)



修理設計書 (1994年度)



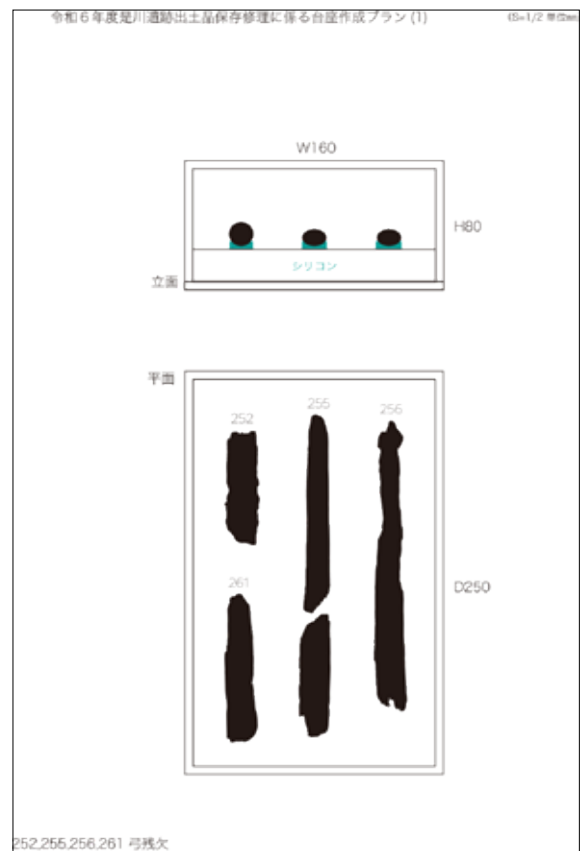
修理用調書 (2022 年度)



修理用調書 (2023 年度)



修理用調書 (2024 年度)



保存台座設計図 (2024 年度)

## 1995 年度保存修理（土製品）

土偶の保存修理及び安定台の作製。脆弱部には樹脂の補填、補彩を行ったほか、安定台への設置のため、欠失した脚や腕を樹脂で復元し、補彩した。資料本体と資料をつなぐ樹脂製の台座は、資料の破断面を型取りして作成しボルトを埋め込み、安定台と結合させている。安定台は台形に加工したサクラ材を用い、拭き漆仕上げとした。また、安定台の底には鉛製の重りを入れて重心を下げた。



台座の素材・形状の検討



樹脂製台座の作成



台座底面の重り



重り設置

## 2023 年度保存修理（土器・石器）

土器の保存修理。修理前の写真、透過写真撮影により状態を確認する。接合されている場合、全体の強度を高めるため、一度解体して修理を行う（通常解体修理）。解体は溶剤を用い、破断面を樹脂で強化した後再接合を行う。接合箇所の隙間やヒビは必要に応じて樹脂を充填するほか、全体の強度を高めるため、欠失部を樹脂で復元する。段差が生じている大きなヒビは、その段差を残して樹脂を充填して強化する。復元部の形状や文様は残存部を基に補刻するが、不明な場合は類似資料を基に検討する。樹脂による復元部や補填箇所は本体と見分けがつく色で補彩している。



溶剤を用いた接合の解体



断面の強化



欠失部の復元



復元部への補彩

## 2024 年度保存修理（漆製品）

漆塗弓の保存修理。修理前の写真撮影、透過写真撮影により状態を確認し、脆弱な資料は既存樹脂を低級アルコールに置換後、高級アルコールに再含浸した。強度確保のため、必要箇所樹脂を充填し、再接合、樹脂部分は本体と見分けがつく色で補彩した。



修理前の写真撮影



透過（X線）写真撮影



再含浸の事前処理



再含浸



再接合・樹脂充填



充填部分の補彩

## 4. 保存修理の履歴

保存修理は事業計画に基づいて実施されているが、ここでは、昭和年間指定品について実施した保存修理を第1期・第2期に分け、平成年間指定品について実施した保存修理を第1期から第3期に分けて報告する。平成年間指定品第3期からは、昭和年間指定品の一部について、再修理と保存台座の修正を進めている。

昭和年間指定品の第1期保存修理は、重要文化財指定に係る審議会から、そのまま東京国立博物館に資料保管を依頼し、指定後より同館修理工房（仏像修理室）にて実施された。修理は、文化財保護委員会及び文化庁文化財保護部美術工芸課（当時）が監督を行い、文化財保護委員会の嘱託が施工した。

昭和年間指定品の第2期保存修理からは、専門業者が施工している。また、昭和年間指定品の第2期保存修理の修理指導は、江坂輝彌（慶應義塾大学名誉教授）、芹沢長介（東北大学名誉教授）、村越潔（弘前大学教授）、青木繁夫（東京国立文化財研究所第三修復研究室長）が行った。

平成年間指定品の保存修理は、文化庁文化財部美術学芸課、後の文化庁文化財部文化財第一課の専門調査官による監督の元、専門業者が施工している。

表1 保存修理履歴一覧

区分	年度	点数	事業費	修理施工
昭和年間指定品第1期	1962	2	200,000	加藤義行（文化財保護委員会嘱託）
	1963	3	100,000	加藤義行（同上）
	1965	2	521,000	加藤義行（同上）
	1966	19	663,000	加藤義行（同上）
	1967	4	698,000	加藤義行（同上）
	1968	11	802,000	加藤義行・後藤猛（同上）
	1969	8	1,358,000	加藤義行・後藤猛（同上）
	1970	3	1,500,000	加藤義行・後藤猛（同上）
	1971	136	1,000,000	加藤義行・後藤猛（同上）
昭和年間指定品第2期	1991	25	4,000,000	株式会社東芸
	1992	30	5,000,000	株式会社東芸
	1993	36	6,000,000	株式会社東芸
	1994	42	6,000,000	株式会社東芸
	1995	82	8,000,000	株式会社東芸
	1996	99	8,000,000	株式会社東芸
平成年間指定品第1期	2012	10	5,010,000	株式会社東都文化財保存研究所
	2013	10	5,010,000	株式会社芸匠
	2014	16	5,010,000	株式会社芸匠
	2015	9	5,010,000	株式会社東都文化財保存研究所
	2016	10	6,100,000	株式会社東都文化財保存研究所
平成年間指定品第2期	2017	22	5,080,000	株式会社吉田生物研究所
	2018	12	5,070,000	株式会社芸匠
	2019	19	5,500,000	株式会社吉田生物研究所
	2020	36	2,588,000	株式会社芸匠
平成年間指定品第3期	2021	11	2,588,000	株式会社吉田生物研究所
	2022	25	4,772,000	株式会社吉田生物研究所
	2023	25	4,875,000	株式会社吉田生物研究所
	2024	6	3,755,000	株式会社吉田生物研究所
		713	104,210,000	

保存修理の履歴 (2)

昭和年間指定品 第 1 期

修理期間：1962（昭和 37）年

修理点数：2 点（壺形土器・鉢形土器）

事業費：200,000 円（市費）

修理：加藤義行（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1963（昭和 38）年 5 月 10 日～1964（昭和 39）年 3 月 31 日

修理点数：3 点（壺形土器）

事業費：100,000 円（市費）

修理：加藤義行（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1965（昭和 40）年 7 月 10 日～1966（昭和 41）年 3 月 31 日

修理点数：2 点（赤漆弓・飾り太刀）

事業費：521,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1966（昭和 41）年 11 月 1 日～1967（昭和 42）年 3 月 31 日

修理点数：19 点（赤漆弓・籠形木製品 18）

事業費：663,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1967（昭和 42）年 11 月 1 日～1968（昭和 43）年 3 月 31 日

修理点数：4 点（赤漆弓 2・弓・腕輪）

事業費：698,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1968（昭和 43）年

修理点数：11 点（耳飾 3・腕輪 4・櫛 4）

事業費：802,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行、後藤猛（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1969（昭和 44）年 11 月 1 日～1970（昭和 45）年 3 月 20 日

修理点数：8 点（籃胎漆器 2・壺形土器 2・台付土器・注口土器 2・香炉形土器）

事業費：1,358,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行、後藤猛（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1970（昭和 45）年 11 月 1 日～1971（昭和 46）年 3 月 20 日

修理点数：3 点（赤漆高坏・樹皮製容器・壺形土器）

事業費：1,500,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行、後藤猛（文化財保護委員会囑託）

修理期間：1971（昭和 46）年 10 月 1 日～1972（昭和 47）年 3 月 20 日

修理点数：136 点（注口土器 2・皿形土器 3・壺形土器 2・香炉形土器・鉢形土器 2・石皿・石鍬 35・石錐 9・玉類 79・土偶 2）

事業費：1,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：加藤義行、後藤猛（文化財保護委員会囑託）

#### 昭和年間指定品 第 2 期

修理期間：1991（平成 3）年 11 月 1 日～1992（平成 4）年 3 月 31 日

修理点数：25 点（深鉢形土器・壺形土器 6・鉢形土器 7・皿形土器・注口土器 5・台付土器 5）

事業費：4,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

修理期間：1992（平成 4）年 7 月 1 日～1993（平成 5）年 2 月 27 日

修理点数：30 点（深鉢形土器・壺形土器 11・鉢形土器 13・注口土器 3・台付土器 2）

事業費：5,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

修理期間：1993（平成 5）年 7 月 19 日～1994（平成 6）年 2 月 28 日

修理点数：36 点（深鉢形土器・壺形土器 13・鉢形土器 7・皿形土器 5・注口土器 2・台付土器 7・香炉形土器）

事業費：6,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

修理期間：1994（平成 6）年 7 月 19 日～1995（平成 7）年 2 月 28 日

修理点数：42 点（深鉢形土器・壺形土器 3・鉢形土器 2・注口土器 2・香炉形土器・土偶 28・磨製石斧 5）

事業費：6,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

修理期間：1995（平成 7）年 7 月 1 日～1996（平成 8）年 3 月 31 日

修理点数：82 点（深鉢形土器 4・壺形土器 23・鉢形土器 13・磨製石斧 27・磨製篋形石器 6・石棒石劍石刀 8・青竜刀形石器）

事業費：8,000,000 円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

保存修理の履歴 (4)

修理期間：1996（平成8）年7月23日～1997（平成9）年2月28日

修理点数：99点（壺形土器10・鉢形土器4・皿形土器・注口土器11・台付土器7・香炉形土器・釣手付土器・小形土器2・石槍9・篋状石器2・石匙22・異形石器2・岩版10・土版・土製耳飾り12・きこの形土製品3・鈴形土製品）

事業費：8,000,000円（国費・県費・市費）

修理：株式会社東芸

平成年間指定品 第1期

修理期間：2012（平成24）年7月20日～2013（平成25）年2月28日

修理点数：10点（壺形土器・鉢形土器・ヤス軸柄3・赤漆弓・藍胎漆器・木胎漆器・掘り棒・繊維製品）

事業費：5,010,000円（国費・市費）

修理：株式会社東都文化財保存研究所

修理期間：2013（平成25）年8月27日～2014（平成26）年2月28日

修理点数：10点（壺形土器2・台付土器・藍胎漆器・木胎漆器・石斧柄3・繊維製品・石刀）

事業費：5,010,000円（国費・市費）

修理：株式会社芸匠

修理期間：2014（平成26）年8月29日～2015（平成27）年2月27日

修理点数：16点（壺形土器3・注口土器2・木胎漆器・樹皮製容器8・石斧柄・掘り棒）

事業費：5,010,000円（国費・市費）

修理：株式会社芸匠

修理期間：2015（平成27）年6月24日～2016（平成28）年2月26日

修理点数：9点（壺形土器・樹皮製容器3・掘り棒2・赤漆弓2・ヤス軸柄）

事業費：5,010,000円（国費・市費）

修理：株式会社東都文化財保存研究所

修理期間：2016（平成28）年6月17日～2017（平成29）年2月26日

修理点数：10点（壺形土器・赤漆弓3・飾り太刀2・掘り棒2・ヤス軸柄・ヤス先）

事業費：6,100,000円（国費・市費）

修理：株式会社東都文化財保存研究所

平成年間指定品 第2期 ※青森県丹後平古墳群出土品の事業費は含まない

修理期間：2017（平成29）年7月3日～2018（平成30）年2月23日

修理点数：22点（壺形土器2・鉢形土器・樹皮製容器18・石斧柄）

事業費：5,080,000円（国費・市費）

修理：株式会社吉田生物研究所

修理期間：2018（平成30）年7月3日～2019（平成31）年2月28日  
修理点数：12点（鉢形土器2・浅鉢形土器・注口土器3・木製容器4・篋形木製品2）  
事業費：5,070,000円（国費・市費）  
修理：株式会社芸匠

修理期間：2019（令和元）年7月3日～2020（令和2）年3月19日  
修理点数：19点（注口土器4・台付土器2・小形土器・加工木材11点・木製容器）  
事業費：5,500,000円（国費・市費）  
修理：株式会社吉田生物研究所

修理期間：2020（令和2）年6月29日～2022（令和4）年3月31日 ※繰越  
修理点数：36点（台付土器2・繊維製品4・櫛4・耳飾2・腕輪3・玉類21）  
事業費：2,588,000円（国費・市費）  
修理：株式会社芸匠

平成年間指定品 第3期 ※青森県丹後平古墳群出土品の事業費は含まない  
修理期間：2021（令和3）年6月4日～2022（令和4）年3月25日  
修理点数：11点（浅鉢形土器・香炉形土器・壺形土器・樹皮製容器8）  
事業費：2,588,000円（国費・市費）  
修理：株式会社吉田生物研究所

修理期間：2022（令和4）年5月26日～2023（令和5）年3月24日  
修理点数：25点（壺形土器・鉢形土器2・浅鉢形土器・深鉢形土器・櫛2・腕輪5・装身具2・籃胎漆器・環状石製品2・刺突具2・骨篋・やす先・垂飾2・弓弭2）  
事業費：4,772,000円（国費・市費）  
修理：株式会社吉田生物研究所

修理期間：2023（令和5）年6月5日～2024（令和6）年3月22日  
修理点数：25点（籃胎漆器・壺形土器2・鉢形土器・浅鉢形土器・深鉢形土器・台付土器・加工木材5・樹皮製容器・石鏃3・石篋2・石錐4・石匙2・異形石器）  
事業費：4,875,000円（国費・市費）  
修理：株式会社吉田生物研究所

修理期間：2024（令和6）年5月1日～2025（令和7）年3月21日  
修理点数：6点（飾り太刀・赤漆弓5）  
事業費：3,755,000円（国費・市費）  
修理：株式会社吉田生物研究所

1963年度保存修理 ID11 壺形土器・ID13 壺形土器・ID156 鉢形土器

解体・再接合、欠失部は残存部を元に復元、補彩。



修理前  
ID11 壺形土器



修理後  
ID11 壺形土器



修理前  
ID13 壺形土器



修理後  
ID13 壺形土器



修理前  
ID156 鉢形土器



修理後  
ID156 鉢形土器

1966年度保存修理 ID368 漆塗弓

クリーニング、全体強化、接合。漆塗膜の剥落止め。台座作製。



修理前



修理後

1966年度保存修理 ID379-386 篋形木製品

全体強化、解体・再接合。保存台座・保存箱作製。



修理前

ID379-382 篋形木製品



修理後

ID379-382 篋形木製品



修理前

ID383-386 篋形木製品



修理後

ID383-386 篋形木製品

1968年度保存修理 ID364・365 腕輪

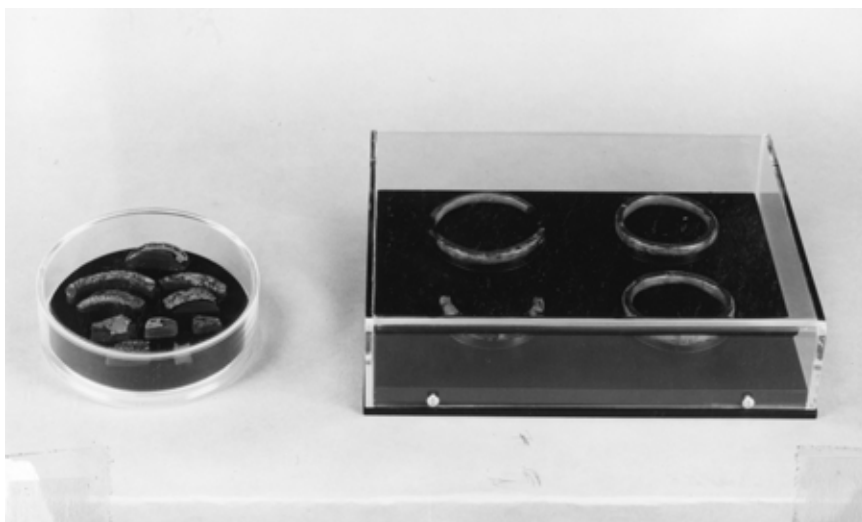
全体強化、接合、漆塗膜の剥落止め。保存台座・保存箱作製。



修理前



修理後



保存台座

1969年度保存修理 ID344 籃胎漆器

解体、クリーニング、再接合。底部破片は接合し、欠失部を樹脂で復元。全体強化。保存台座・保存箱作製。



修理前



修理前

1969年度保存修理 ID344 籃胎漆器



修理後



修理後

昭和年間指定品 第1期保存修理(7)

1971年度保存修理 ID685 石皿

接合。保存台座作製。



修理前



修理後

1971年度保存修理 ID411 土偶

接合、全体強化。土偶の内側と破断面に接する保存台座を作製。



修理前



修理後



修理後

1991年度保存修理 ID138 鉢形土器

解体、クリーニング、接合、剥離止め、欠失部は残存部を元に復元、同様の文様を施し、補彩。



修理前



解体



欠失部補填



修理後

1991年度保存修理 ID183 鉢形土器

解体、クリーニング、接合。亀裂補修。欠失部は残存部を元に復元、同様の文様を施し、補彩。



修理前



欠失部補填



修理後

1994 年度保存修理 ID430 土偶

クリーニングし、欠失した右脚部を残存した左脚を元に復元。天然銘木（櫻材）を使用し、角をとり、ふき漆仕上げ（生漆）とし、底に重りを入れ込んだ保存台座を作製。



修理前



修理後

1995年度保存修理 ID44 壺形土器

クリーニング、漆塗膜の剥離止め。欠失部は類似資料から形状・文様を復元し、補彩。



修理前



欠失部補填



修理後

1995 年度保存修理 ID53 壺形土器

クリーニング、解体、再接合。破断面強化。欠失部・亀裂を補填、欠失部は残存部を元に復元、補彩。



修理前



修理後

1995年度保存修理 ID113 壺形土器

クリーニング、解体、再接合。破断面強化。欠失部・亀裂を補填、欠失部は残存部を元に復元、文様補刻・補彩。



修理前



解体



欠失部補填



欠失部補填



修理後



修理後

1996 年度保存修理 ID257 注口土器

クリーニング、解体、再接合。破断面強化。欠失部は残存部を元に復元、文様補刻、補彩。



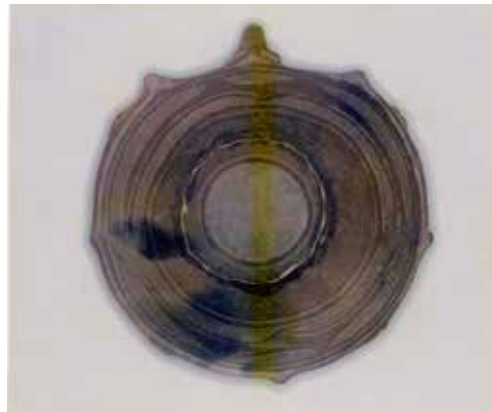
修理前



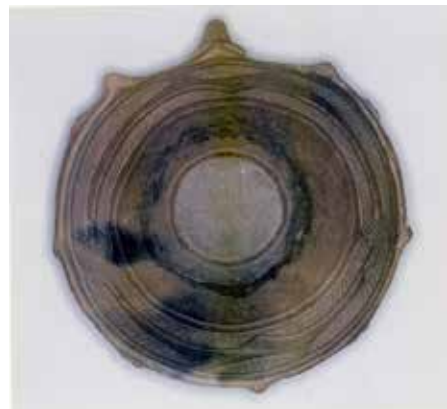
解体



樹脂充填



修理後



1996 年度保存修理 ID60 壺形土器

クリーニング、剥落止め、破断面強化。欠失部は類似資料から復元、補彩（復元部は脱着可能）。



修理前



欠失部補填



修理後



修理後

1996 年度保存修理 ID457-468 土製耳飾り

クリーニング、欠失部は残存部を元に復元、補刻、補彩。保存箱と保存台（棚板）を桐材で作製。



修理前（表面）



修理前（裏面）



ID459  
修理前



ID459  
欠失部補填



1996 年度保存修理 ID457-468 土製耳飾り



ID466



ID466



ID459



ID459



ID460



ID460



ID462

修理前



ID462

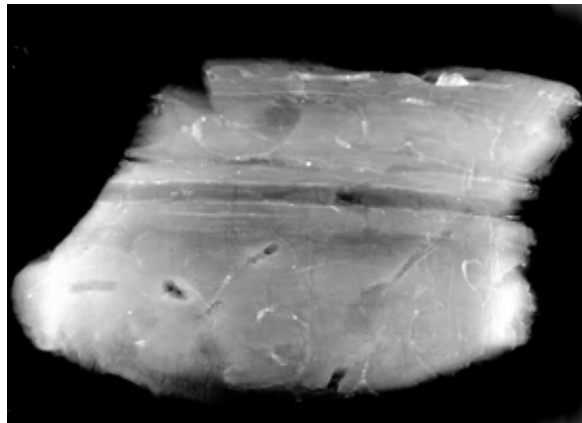
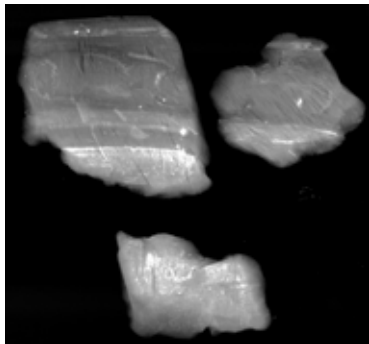
欠失部補填

2012年度保存修理 ID902 木胎漆器

クリーニング、破断面に樹脂含浸強化、亀裂・穴埋め、漆塗膜剥落止め、接合、樹脂充填、復元、補彩。  
保存台作製。



修理前



透過 (X線) 写真

2012年度保存修理 ID902 木胎漆器



修理後

2013年度保存修理 ID711 壺形土器

破断面強化、漆塗膜剥落止め、亀裂補修、欠失部は残存部を元に復元、補刻、補彩。



修理前



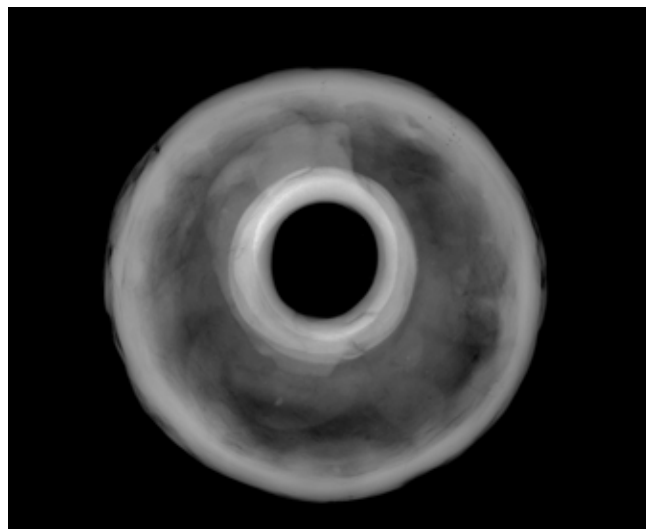
全体強化・欠失部復元



樹脂補填 (ヒビ)



修理後



透過 (X線) 写真

2013年度保存修理 ID723 壺形土器

解体、クリーニング、樹脂強化、欠失部復元、亀裂補修、再接合。残存部を元に復元（内面の漆の状態を観察できるようにするため本接合は行わず、復元部分に舌状の突起を作り復元部分が本体に組み合わさるようにした）、補彩。



修理前



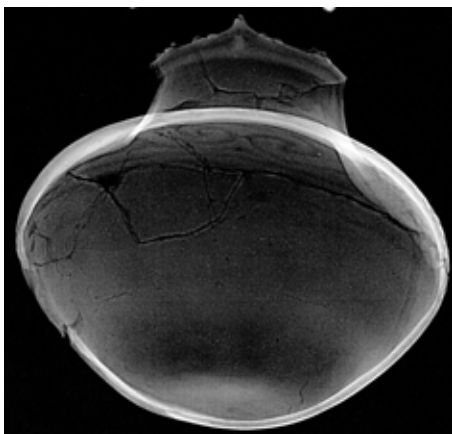
解体



欠失部復元



修理後



透過(X線)写真



本体(左)と復元(右)

2013 年度保存修理 ID120・121 石斧柄

クリーニング、全体強化。亀裂・穴補修、補彩。接合 (ID121)。保存台座作製。



修理前



修理前



接合・補填



接合・補填



修理後



修理後



透過 (X線) 写真

2014年度保存修理 ID714 壺形土器

解体、再接合。全体強化、亀裂補修、外面ハガレ補修（赤色顔料がみられる箇所は補修しない）。欠失部は残存部を元に復元、補彩。



修理前



解体・クリーニング



接合・補填



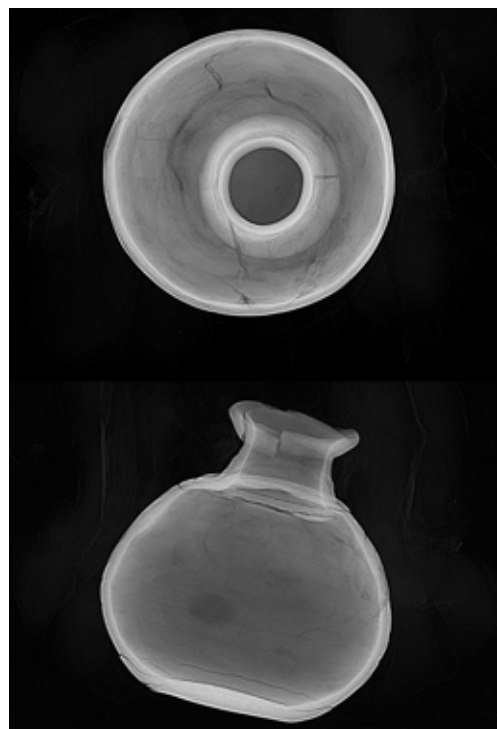
接合・補填



修理後



修理後



透過 (X線) 写真

2015 年度保存修理 ID914 樹皮製容器

クリーニング、虫穴・根穴補填、以前の接合にズレがあった箇所を修復、補彩。保存台座作製。



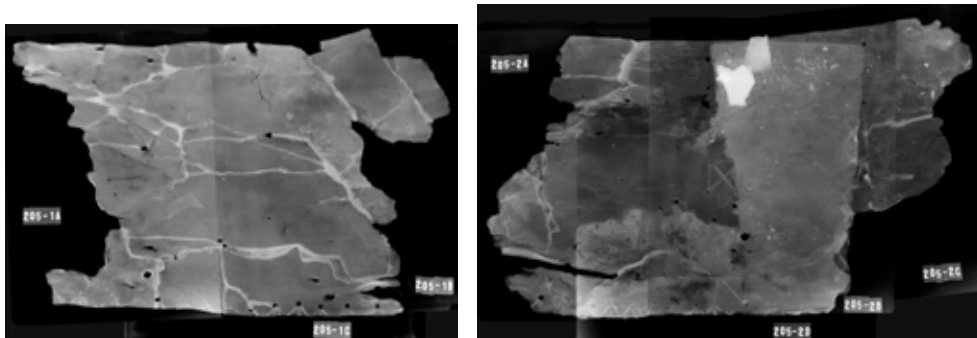
修理前



欠失部補填



修理後



透過 (X線)  
写真 (合成)

2016 年度保存修理 ID258 漆塗弓

漆塗膜剥落止め、穴補填。亀裂は接着強化後に樹脂充填、補彩。保存台座作製。



修理前



欠失部補填



修理後



透過 (X線) 写真 (合成)

2017年度保存修理 ID712 壺形土器

解体・クリーニング、再接合。内外面の剥落止め。欠失部は残存部を元に復元、文様補刻、補彩。



修理前



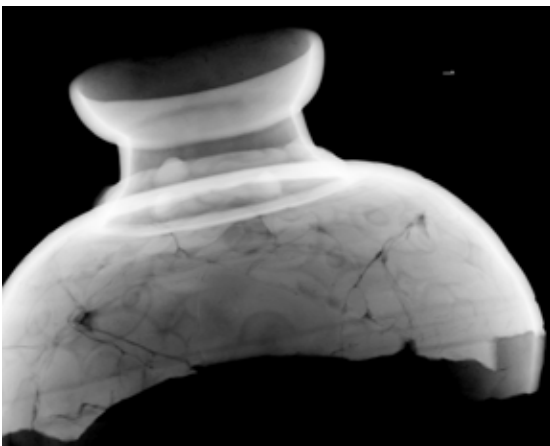
解体・クリーニング



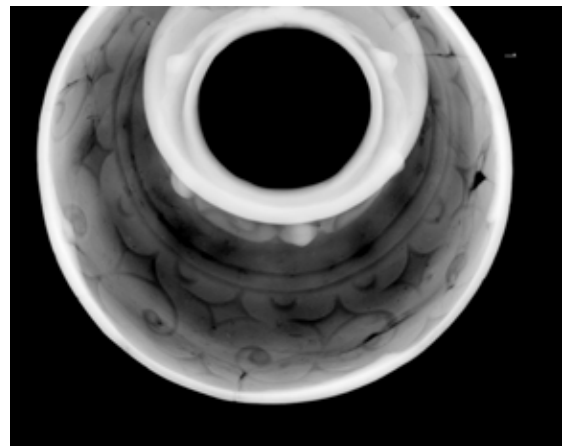
接合・補填



修理後



透過 (X線) 写真



透過 (X線) 写真

2017年度保存修理 ID739 壺形土器

解体せず既存充填材を利用。剥落部・欠失部は残存部を元に復元・文様補刻、補彩。



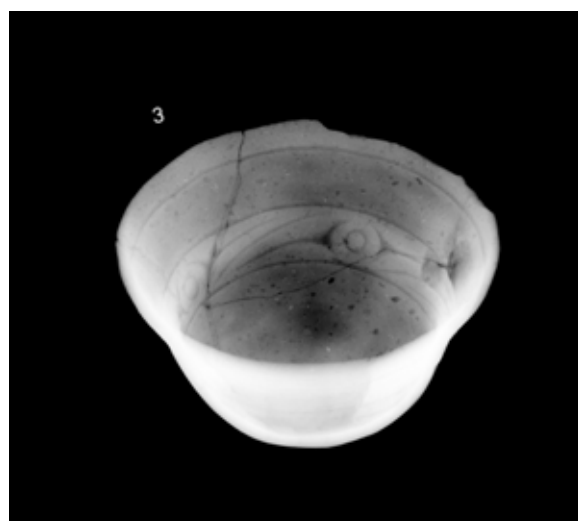
修理前



補填



修理後



透過 (X線) 写真

2018年度保存修理 ID740 鉢形土器

亀裂補修、底部の剥がれ部分を充填補修、外面のみ補彩。



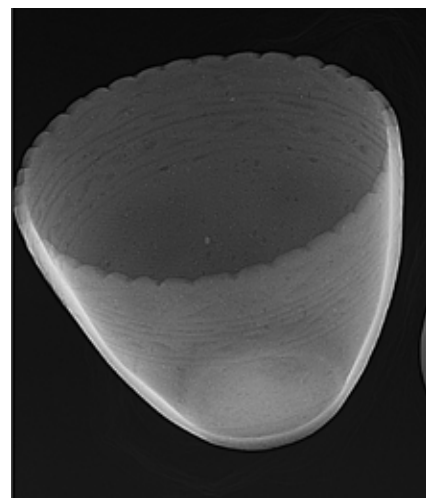
修理前



補填



修理後



透過 (X線) 写真

2018年度保存修理 ID755 浅鉢形土器

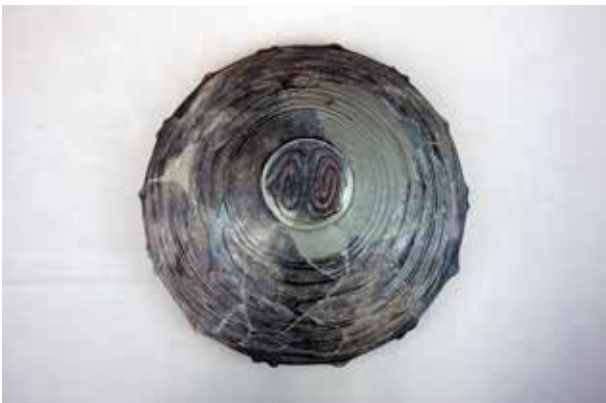
解体・再接合、欠失部・頸部の突起を残存部を元に復元、内面の注記除去、補彩。



修理前



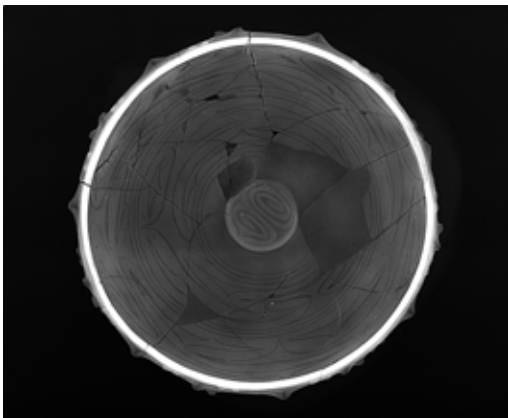
解体・クリーニング



接合・補填



修理後



透過(X線)写真



修理後

2019年度保存修理 ID850 加工木材

芯は入れずに接合、樹脂強化、亀裂・穴を補填・補彩。外面の黒色付着物を剥離止め。



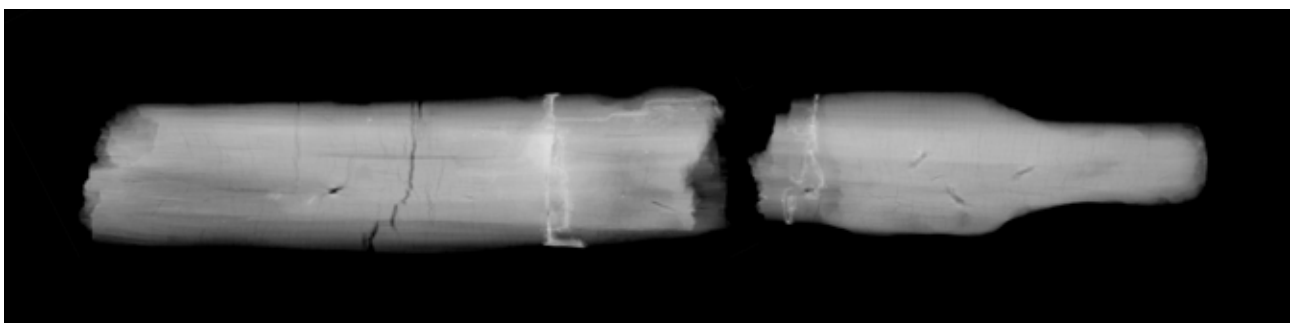
修理前



欠失部補填



修理後



透過(X線)写真(合成)

2019年度保存修理 ID874 加工木材

亀裂・穴を補填・補彩。大きな接合箇所は強度と安定性を確保するため、アクリル樹脂製の芯を挿入し接合。小片パーツを接合。



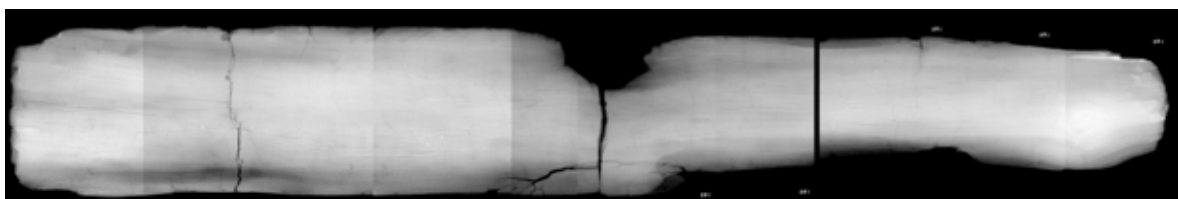
修理前



接合・欠失部補填



修理後



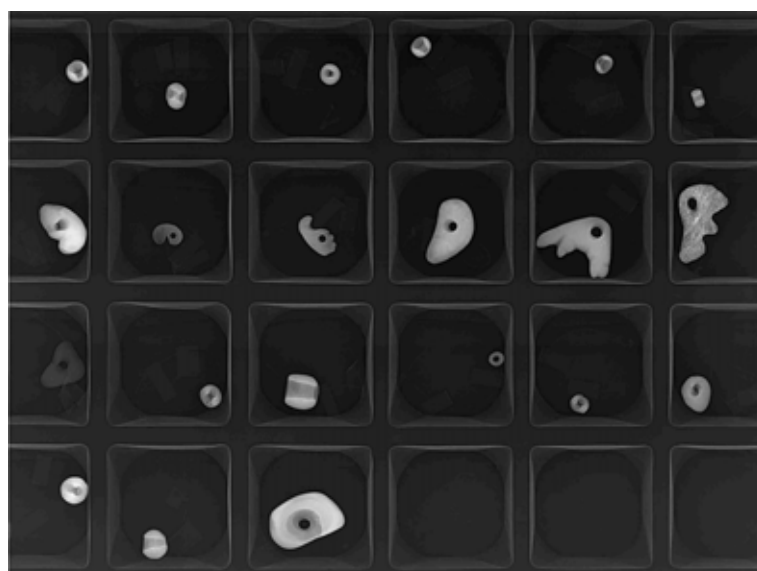
透過(X線)写真(合成)

2020年度保存修理 ID995-1005 玉類

端部に樹脂を塗布し補強処理。保存台座作製。



修理後 (ヒビ強化)



透過 (X線) 写真

2020年度保存修理 ID886・887 繊維製品(編布)

表面クリーニング、端部に樹脂を塗布し補強処理。保存台座作製。



修理前



修理前



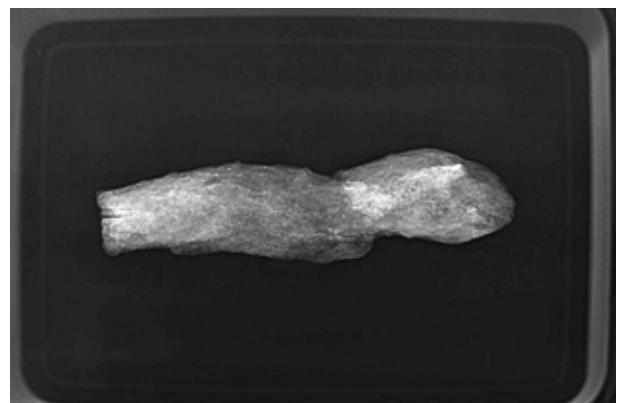
修理後(強化)



修理後(強化)



透過(X線)写真



透過(X線)写真

2021年度保存修理 ID938 樹皮製容器

クリーニング、全体の強度を保つため欠失部を補填・補彩。穴の補填・補彩。保存台座作製。



修理前



修理前



欠失部補填



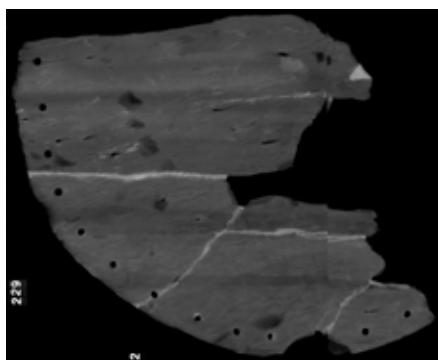
欠失部補填



修理後



修理後



透過(X線)写真



保存台に設置

2021年度保存修理 ID784 香炉形土器

クリーニング、亀裂補填、台部の解体・再接合・欠失部は残存部を元に補填、補彩。



修理前



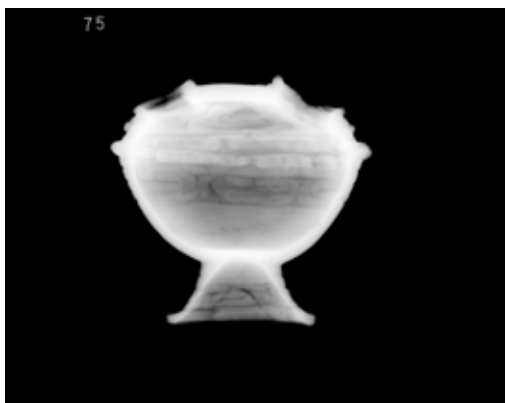
解体・クリーニング



補填



修理後



透過 (X線) 写真

2022 年度保存修理 ID1039 弓弭形角製品

裏面（海綿質部分）の樹脂塗布強化。保存台座作製。



修理前（表面）



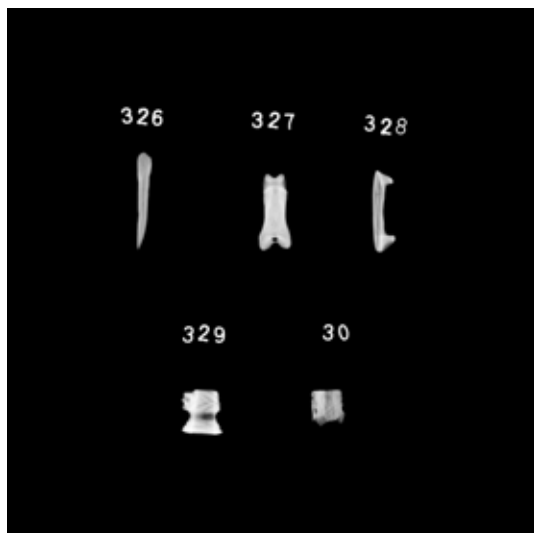
修理前（裏面）



修理後（表面）



修理後（裏面）



透過（X線）写真



保存台に設置

2022年度保存修理 ID344 籃胎漆器

クリーニング、断面強化。テグス固定の取りやめ。既存の保存台座を再利用し、新たにアクリル製蓋・シリコーン製安定台（黒）・受具を作製。



当初の保存台座



当初の保存台座（内面）



修理前



クリーニング



修正後の保存台座

2023年度保存修理 ID759 深鉢形土器

内外面の炭化物剥落止め、破断面強化。解体、再接合。欠失は残存部を元に復元・補刻。接合箇所に目地埋め。補彩。



修理前



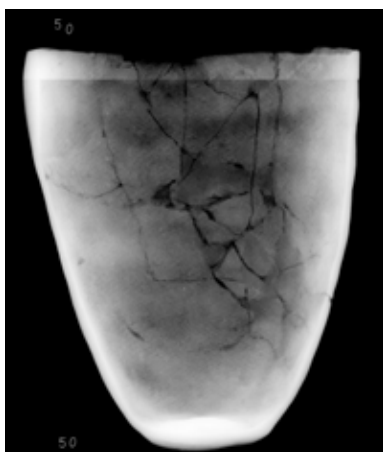
解体・クリーニング



再接合・樹脂充填



修理後



透過 (X線) 写真

2023年度保存修理 ID345 籃胎漆器

クリーニング、全体強化。亀裂補填、補彩。テグス固定の取りやめ。既存の保存台座を再利用し、新たにアクリル製蓋・シリコン製安定台・樹脂製受具(黒)を作製。



修理前  
当初の保存台座



修理前  
当初の保存台座



ヒビ強化(樹脂充填)



ヒビ強化(樹脂充填)



修理後



修正後の保存台座

2024年度保存修理 ID969 漆塗弓

解体、高級アルコールにて再含浸、全体強化、再接合。孔・亀裂に樹脂充填、補彩。保存台座作製。



修理前



樹脂再含浸



再接合・補填



修理後



透過 (X線) 写真 (合成)

2024年度保存修理 ID367 飾り太刀

クリーニング、全体強化。ヒビに樹脂充填、補彩。テグス固定の取りやめ、既存の保存台座を再利用し、新たにシリコン製受具を作製。



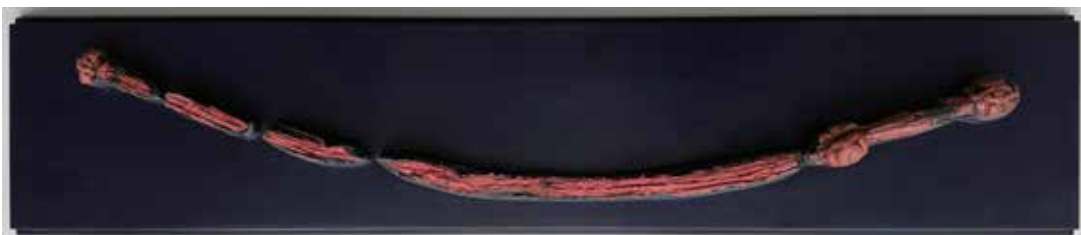
当初の保存台座



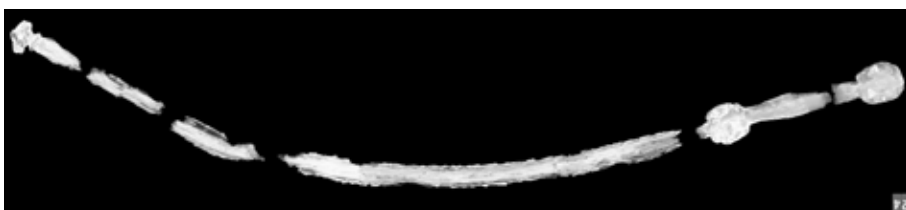
修理前



修理後（全体強化・樹脂充填）



修正後の保存台座



透過（X線）写真（合成）

## 6. 保存修理一覧(1)

ID	資料名	修理概要等	修理
1962(昭和37)年度			
45	壺形土器	亀裂補修、欠失部復元(脱着可)、補彩	1
139	鉢形土器	亀裂補修、欠失部補填、補彩	1
1963(昭和38)年度			
11	壺形土器	欠失部復元	1
13	壺形土器	欠失部復元	1
156	鉢形土器	欠失部復元	1
1965(昭和40)年度			
369	弓	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
367	飾り太刀	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
1966(昭和41)年度			
368	赤漆弓	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
373	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
374	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
375	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
376	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
377	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
378	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
379	籠形木製品	クリーニング、全体強化、接合、欠失部補填、補彩、保存台座・保存箱作製	1
380	籠形木製品	クリーニング、全体強化、接合、欠失部補填、補彩、保存台座・保存箱作製	1
381	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
382	籠形木製品	クリーニング、全体強化、接合、欠失部補填、補彩、保存台座・保存箱作製	1
383	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
384	籠形木製品	クリーニング、全体強化、接合、欠失部補填、補彩、保存台座・保存箱作製	1
385	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
386	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
387	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
388	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
389	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
390	籠形木製品	クリーニング、全体強化、保存台座・保存箱作製	1
1967(昭和42)年度			
370	赤漆弓	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
371	赤漆弓	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
372	弓	クリーニング、全体強化、剥落部接着、保存台座・保存箱作製	1
366	腕輪	クリーニング、全体強化、折損部接合、保存台座・保存箱作製	1
1968(昭和43)年度			
359	耳飾り	全体強化、部分接合、保存台座・保存箱作製	2
360	耳飾り	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
361	耳飾り	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
362	腕輪	全体強化、漆塗膜補修、保存台座・保存箱作製	2
363	腕輪	全体強化、漆塗膜補修、保存台座・保存箱作製	2
364	腕輪	全体強化、漆塗膜補修、保存台座・保存箱作製	2
365	腕輪	全体強化、漆塗膜補修、保存台座・保存箱作製	2
354	櫛	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
355	櫛	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
356	櫛	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
357	櫛	全体強化、保存台座・保存箱作製	2
1969(昭和44)年度			
344	籃胎漆器	全体強化、底部破片接合復元、保存台座・保存箱作製	2
345	籃胎漆器	全体強化、破片接合、保存台座作製	2
37	壺形土器	全体強化、剥落止め、台座作製	2
72	壺形土器	全体強化、欠失部復元、補彩	2
284	台付土器	亀裂補修、保存台座作製	2
218	注口土器	全体強化、剥落止め、欠失部補修	2
219	注口土器	全体強化、保存台座作製	2
327	香炉形土器	全体強化、保存台座作製	2

ID	資料名	修理概要等	修理
1970(昭和45)年度			
347	赤漆高杯	全体強化、破片接合、保存台座作製	2
353	樹皮製容器	全体強化、破片接合、保存台座、保存箱作製	2
81	壺形土器	全体強化、亀裂補修、保存台座作製	2
1971(昭和46)年度			
222	注口土器	全体強化、破片接合、欠失部復元、保存台座作製	2
226	注口土器	全体強化、破片接合、欠失部復元、保存台座作製	2
205	皿形土器	解体・再接合・補填・補彩	2
206	皿形土器	解体・再接合・補填・補彩	2
208	皿形土器	欠失部補填	2
21	壺形土器	全体強化、欠失部復元	2
74	壺形土器	全体強化、欠失部復元	2
325	香炉形土器	全体強化、欠失部復元、保存台座作製	2
153	鉢形土器	全体強化、欠失部復元、保存台座作製	2
162	鉢形土器	全体強化、欠失部復元、保存台座作製	2
685	石皿	全体強化、破片接合、保存台座作製	2
563	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
564	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
565	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
566	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
567	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
568	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
569	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
570	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
571	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
572	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
573	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
574	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
575	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
576	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
577	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
578	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
579	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
580	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
581	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
582	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
583	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
584	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
585	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
586	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
587	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
588	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
589	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
590	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
591	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
592	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
593	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
594	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
595	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
596	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
597	石鏝	保存台座・保存箱作製	2
609	石錐	保存台座・保存箱作製	2
610	石錐	保存台座・保存箱作製	2
611	石錐	保存台座・保存箱作製	2
612	石錐	保存台座・保存箱作製	2
613	石錐	保存台座・保存箱作製	2

## 保存修理一覽 (3)

ID	資料名	修理概要等	修理
614	石錐	保存台座・保存箱作製	2
615	石錐	保存台座・保存箱作製	2
616	石錐	保存台座・保存箱作製	2
617	石錐	保存台座・保存箱作製	2
485	玉類	保存台座・保存箱作製	2
487	玉類	保存台座・保存箱作製	2
488	玉類	保存台座・保存箱作製	2
489	玉類	保存台座・保存箱作製	2
491	玉類	保存台座・保存箱作製	2
492	玉類	保存台座・保存箱作製	2
493	玉類	保存台座・保存箱作製	2
494	玉類	保存台座・保存箱作製	2
495	玉類	保存台座・保存箱作製	2
496	玉類	保存台座・保存箱作製	2
497	玉類	保存台座・保存箱作製	2
498	玉類	保存台座・保存箱作製	2
499	玉類	保存台座・保存箱作製	2
500	玉類	保存台座・保存箱作製	2
501	玉類	保存台座・保存箱作製	2
502	玉類	保存台座・保存箱作製	2
503	玉類	保存台座・保存箱作製	2
504	玉類	保存台座・保存箱作製	2
505	玉類	保存台座・保存箱作製	2
506	玉類	保存台座・保存箱作製	2
508	玉類	保存台座・保存箱作製	2
509	玉類	保存台座・保存箱作製	2
510	玉類	保存台座・保存箱作製	2
511	玉類	保存台座・保存箱作製	2
512	玉類	保存台座・保存箱作製	2
514	玉類	保存台座・保存箱作製	2
515	玉類	保存台座・保存箱作製	2
516	玉類	保存台座・保存箱作製	2
517	玉類	保存台座・保存箱作製	2
518	玉類	保存台座・保存箱作製	2
519	玉類	保存台座・保存箱作製	2
520	玉類	保存台座・保存箱作製	2
521	玉類	保存台座・保存箱作製	2
522	玉類	保存台座・保存箱作製	2
523	玉類	保存台座・保存箱作製	2
524	玉類	保存台座・保存箱作製	2
525	玉類	保存台座・保存箱作製	2
526	玉類	保存台座・保存箱作製	2
527	玉類	保存台座・保存箱作製	2
528	玉類	保存台座・保存箱作製	2
529	玉類	保存台座・保存箱作製	2
532	玉類	保存台座・保存箱作製	2
533	玉類	保存台座・保存箱作製	2
534	玉類	保存台座・保存箱作製	2
535	玉類	保存台座・保存箱作製	2
536	玉類	保存台座・保存箱作製	2
537	玉類	保存台座・保存箱作製	2
538	玉類	保存台座・保存箱作製	2
539	玉類	保存台座・保存箱作製	2
540	玉類	保存台座・保存箱作製	2
410	土偶	全体強化、接合修理、保存台座作製	2
411	土偶	全体強化、接合修理、保存台座作製	2

ID	資料名	修理概要等	修理
1991(平成3)年度			
8	甕形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
21	壺形土器	接合修理、剥落止め、欠失部復元、補彩(古色)	3
25	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
66	壺形土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
67	壺形土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
68	壺形土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
110	壺形土器	欠失部復元、亀裂補修、補彩(古色)	3
134	鉢形土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
138	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、剥落止め、補彩(古色)	3
140	鉢形土器	欠失部復元、剥落止め、補彩(古色)	3
142	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
148	鉢形土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
157	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
183	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
211	皿形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
218	注口土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
223	注口土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
228	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
277	注口土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
278	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
281	台付土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
288	台付土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
293	台付土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
295	台付土器	欠失部復元、補彩(古色)	3
306	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩(古色)	3
1992(平成4)年度			
3	甕形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
12	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
19	壺形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
28	壺形土器	解体・再接合、全体強化、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
30	壺形土器	剥落止め、欠失部復元、補彩	3
50	壺形土器	全体強化、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
51	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
55	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
56	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
63	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
73	壺形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
76	壺形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
132	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
137	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
139	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
145	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
149	鉢形土器	亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
150	鉢形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
154	鉢形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
155	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
161	鉢形土器	亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
170	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
173	鉢形土器	亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
179	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
198	鉢形土器	欠失部復元、補彩	3
226	注口土器	欠失部復元、補彩	3
253	注口土器	欠失部復元、補彩	3
268	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
298	台付土器	欠失部復元、補彩、保存台座作製	3

## 保存修理一覧(5)

ID	資料名	修理概要等	修理
299	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
1993(平成5)年度			
4	甕形土器	亀裂補修、補彩	3
34	壺形土器	欠失部復元、亀裂補修、補彩	3
35	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
36	壺形土器	解体・再接合、全体強化、補彩	3
64	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
70	壺形土器	解体・再接合、全体強化、補彩	3
81	壺形土器	欠失部復元、補彩	3
87	壺形土器	欠失部補填、補彩	3
97	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
99	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
100	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
101	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
107	壺形土器	欠失部補填、補彩	3
111	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
151	鉢形土器	欠失部補填、補彩	3
160	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
164	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
165	鉢形土器	欠失部補填、補彩	3
176	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
178	鉢形土器	欠失部復元、亀裂補修、補彩	3
203	鉢形土器	欠失部復元、補彩	3
209	皿形土器	欠失部復元、補彩	3
212	皿形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
213	皿形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
216	皿形土器	解体・再接合、剥落止め、欠失部復元、補彩	3
217	皿形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
273	注口土器	欠失部復元、補彩	3
276	注口土器	欠失部復元、補彩	3
280	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
290	台付土器	欠失部復元、補彩	3
301	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
314	台付土器	亀裂補填、補彩	3
317	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
318	台付土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
319	台付土器	欠失部復元、補彩	3
324	香炉形土器	欠失部復元、補彩	3
1994(平成6)年度			
6	甕形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
41	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
49	壺形土器	全体強化	3
95	壺形土器	亀裂・欠失部補填、補彩	3
158	鉢形土器	亀裂強化	3
168	鉢形土器	亀裂強化	3
231	注口土器	欠失部復元、亀裂補修、補彩	3
266	注口土器	欠失部復元、補彩	3
323	香炉形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
406	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
407	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
408	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
409	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
412	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
413	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
414	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
415	土偶	クリーニング、保存台座作製	3

ID	資料名	修理概要等	修理
420	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
421	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
422	土偶	解体修理、クリーニング、欠失部復元、補彩、保存台座作製	3
423	土偶	解体修理、クリーニング、欠失部復元、補彩、保存台座作製	3
424	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
425	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
426	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
427	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
428	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
429	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
430	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
431	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
433	土偶	解体修理、クリーニング、欠失部復元、補彩、保存台座作製	3
434	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
435	土偶	解体修理、クリーニング、欠失部復元、補彩、保存台座作製	3
436	土偶	クリーニング、保存台座作製	3
642	磨製石斧	クリーニング、保存台座作製	3
643	磨製石斧	クリーニング、保存台座作製	3
644	磨製石斧	クリーニング、保存台座作製	3
645	磨製石斧	クリーニング、保存台座作製	3
665	磨製石斧	クリーニング、保存台座作製	3
1995(平成7)年度			
2	甕形土器	接合、欠失部復元、補彩	3
7	甕形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
9	甕形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
10	甕形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
15	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
22	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
38	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
39	壺形土器	解体・再接合、剥落止め、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
44	壺形土器	剥落止め、欠失部復元、補彩	3
45	壺形土器	剥落止め、欠失部復元、補彩	3
46	壺形土器	剥落止め、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
52	壺形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
53	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
62	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
78	壺形土器	剥落止め、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
79	壺形土器	顔料剥落止め	3
82	壺形土器	顔料剥落止め	3
85	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
86	壺形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
91	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
92	壺形土器	剥落止め、欠失部復元、補彩	3
96	壺形土器	剥落止め、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
102	壺形土器	剥落止め、破断面強化、	3
104	壺形土器	顔料剥落止め、欠失部復元、補彩	3
108	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
112	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
113	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
133	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
141	鉢形土器	解体・再接合、剥落止め、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
147	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
159	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
163	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
171	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
177	鉢形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3

## 保存修理一覧(7)

ID	資料名	修理概要等	修理
177	鉢形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
182	鉢形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
185	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
189	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
190	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
195	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
200	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
645	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
644	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
642	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
643	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
665	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
646	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
647	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
648	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
649	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
650	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
651	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
652	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
653	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
654	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
666	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
655	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
656	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
657	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
658	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
659	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
660	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
661	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
662	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
663	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
664	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
4603	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
667	磨製石斧	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
668	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
670	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
669	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
672	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
671	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
673	磨製篋形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
675	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
676	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
677	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
678	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
679	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
680	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
681	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
682	石棒・石剣・石刀	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
674	青竜刀形石製品	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
1996(平成8)年度			
16	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
17	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
29	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
40	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
57	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
59	壺形土器	剥落止め	3

ID	資料名	修理概要等	修理
60	壺形土器	剥落止め、破断面強化、欠失部復元(脱着可)、補彩	3
115	壺形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
119	壺形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
123	壺形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
172	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
186	鉢形土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
201	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	3
202	鉢形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
214	皿形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
220	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
225	注口土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
229	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
230	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
234	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
239	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
257	注口土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
260	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
261	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
263	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
272	注口土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
279	台付土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
282	台付土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
303	台付土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
305	台付土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
307	台付土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
309	台付土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
310	台付土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
321	香炉形土器	破断面強化、欠失部復元(着脱可)、補彩	3
328	釣手付土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部復元、補彩	3
331	小形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
340	小形土器	破断面強化、欠失部復元、補彩	3
598	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
599	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
600	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
601	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
602	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
603	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
604	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
605	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
606	石槍	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
607	籠状石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
608	籠状石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
618	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
619	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
620	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
621	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
622	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
623	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
624	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
625	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
626	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
627	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
628	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
629	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
630	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
631	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3

## 保存修理一覧 (9)

ID	資料名	修理概要等	修理
632	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
633	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
634	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
635	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
636	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
637	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
638	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
639	石匙	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
640	異形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
641	異形石器	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
444	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
445	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
446	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
447	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
448	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
449	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
450	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
451	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
452	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
453	岩版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
455	土版	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
457	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
458	土製耳飾り	欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
459	土製耳飾り	解体・再接合、欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
460	土製耳飾り	欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
461	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
462	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
463	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
464	土製耳飾り	欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
465	土製耳飾り	欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
466	土製耳飾り	欠失部復元、補彩、保存台座・保存箱作製	3
467	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
468	土製耳飾り	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
469	きのこ形土製品	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
3251	きのこ形土製品	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
3249	きのこ形土製品	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
470	鈴形土製品	クリーニング、保存台座・保存箱作製	3
2262	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
1863	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
2910	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
2121	皿形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	3
2012(平成24)年度			
711	壺形土器	全体強化、剥落止め、欠失部復元、補彩	4
750	鉢形土器	解体・再接合、全体強化、欠失部復元、補彩	4
839	やす軸柄	クリーニング、全体強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
840	やす軸柄	クリーニング、全体強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
841	やす軸柄	クリーニング、全体強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
968	弓	クリーニング、全体強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
884	繊維製品等/縄	保存処理(真空凍結乾燥法)、保存台座作製	4
894	籃胎漆器	クリーニング、全体強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
833	掘り棒	クリーニング、全体強化、保存台座作製	4
902	木胎漆器	クリーニング、破断面強化、剥落止め、欠失部復元、保存台座作製	4
2013(平成25)年度			
715	壺形土器	解体・再接合、全体強化、欠失部復元、補彩	5
723	壺形土器	解体・再接合、全体強化、欠失部復元、補彩	5
774	台付土器	解体・再接合、全体強化、欠失部復元、補彩	5

ID	資料名	修理概要等	修理
895	藍胎漆器	クリーニング、全体強化、保存台座作製	5
828	石斧柄	クリーニング、全体強化、保存台座作製	5
829	石斧柄	クリーニング、全体強化、保存台座作製	5
830	石斧柄	クリーニング、全体強化、保存台座作製	5
905	木胎漆器	全体強化、剥落止め、欠失部復元、補彩	5
890	繊維製品等 / 樹皮素材	全体強化、折損部接合（和紙裏打ち）、保存台座作製	5
1024	石刀	全体強化、脆弱部補填、補彩	5
2014(平成26)年度			
713	壺形土器	破断面強化、亀裂補修	5
714	壺形土器	解体・再接合、亀裂補修、全体強化	5
721	壺形土器	欠失部復元、補彩	5
766	注口土器	破断面強化、亀裂補修、欠失部復元、補彩	5
768	注口土器	全体強化、欠失部復元、補彩	5
831	石斧柄	全体強化、折損部接合、保存台座作製	5
898	木胎漆器	欠失部復元、補彩、保存台座作製	5
906	樹皮製容器	亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	5
908	樹皮製容器	亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	5
907	樹皮製容器	亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	5
909	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	5
910	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	5
911	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	5
912	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	5
913	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	5
834	掘り棒	折損部接合、保存台座作製	5
2015(平成27)年度			
737	壺形土器	破断面強化、亀裂補修、剥落止め、欠失部復元、補彩	4
835	掘り棒	欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
837	掘り棒	亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
914	樹皮製容器	欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
915	樹皮製容器	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
926	樹皮製容器	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
960	弓	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
963	弓	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
842	やす軸柄	欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
2016(平成28)年度			
720	壺形土器	クリーニング、剥落止め、亀裂補修、欠失部復元、補彩	4
962	弓	塗膜強化、亀裂補修、保存台座作製	4
966	弓	折損部接合、塗膜強化、欠失部復元、補彩、保存台座作製	4
967	弓	塗膜強化、欠失部復元、補彩、保存台座作製	4
823	飾り太刀	亀裂補修、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
824	飾り太刀	欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
836	掘り棒	亀裂補修、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
838	掘り棒	亀裂補修、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
843	やす軸柄	亀裂補修、剥落止め、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
844	やす先	亀裂補修、剥落止め、欠失部補填、補彩、保存台座作製	4
2017(平成29)年度			
712	壺形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	6
738	壺形土器	解体・再接合、亀裂強化、欠失部復元、補彩	6
739	鉢形土器	欠失部復元、補彩	6
919	樹皮製容器	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
922	樹皮製容器	欠失部復元、補彩、保存台座作製	6
928	樹皮製容器	塗膜強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
929	樹皮製容器	塗膜強化、亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
930	樹皮製容器	亀裂強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
934	樹皮製容器	亀裂強化、破断面強化、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
916	樹皮製容器	クリーニング、保存台座作製	6

## 保存修理一覧(11)

ID	資料名	修理概要等	修理
740	鉢形土器	亀裂補修、欠失部補填、補彩	5
744	鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	5
755	浅鉢形土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	5
761	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	5
762	注口土器	欠失部補填、補彩	5
764	注口土器	解体・再接合、欠失部復元、補彩	5
819	木製容器	亀裂補修、欠失部穴の補填、補彩、保存台座作製	5
820	木製容器	クリーニング、亀裂補修、欠失部穴の補填、補彩、保存台座作製	5
821	木製容器	亀裂補修、欠失部穴の補填、補彩、保存台座作製	5
822	木製容器	亀裂補修、欠失部穴の補填、補彩、保存台座作製	5
826	篋形木製品	亀裂補修、両端強化、補彩、保存台座作製	5
827	篋形木製品	亀裂補修、先端強化、補彩、保存台座作製	5
2019(令和元)年度			
767	注口土器	欠失部復元、補彩	6
771	注口土器	解体・再接合、破断面強化、欠失・剥落部補填、補彩	6
772	注口土器	解体・再接合、破断面強化、欠失・剥落部補填、補彩	6
773	注口土器	亀裂強化、剥落部補填、補彩	6
781	台付土器	解体・再接合、破断面強化、欠失・剥落部補填、補彩	6
782	台付土器	クリーニング、亀裂・破断面強化、剥落部補填、補彩	6
785	小形土器	小片接合、欠失部補填、補彩	6
850	加工木材	全体強化、接合、亀裂・孔補填、補彩	6
861	加工木材	全体強化、接合、亀裂・孔補填、補彩	6
870	加工木材	芯入接合、亀裂・孔補填、補彩	6
872	加工木材	亀裂・孔補填、補彩	6
873	加工木材	亀裂・孔補填、補彩	6
874	加工木材	芯入接合、亀裂・孔補填、補彩	6
875	加工木材	芯入接合、亀裂・孔補填、補彩	6
876	加工木材	芯入接合、亀裂・孔補填、補彩	6
877	加工木材	クリーニング、亀裂補填、補彩	6
878	加工木材	接合、亀裂・孔補填、補彩	6
879	加工木材	芯入接合、亀裂・孔補填、補彩	6
821	木製容器	H30 修理済、保存台座再作製	6
2020(令和2)年度			
775	台付土器	亀裂補填、欠失部復元、補彩	5
777	台付土器	解体・再接合、亀裂補修、欠失部復元、補彩	5
888	繊維製品等/樹皮素材	端部強化	5
889	繊維製品等/樹皮素材	端部強化	5
886	繊維製品等/編布	クリーニング、端部強化	5
887	繊維製品等/編布	クリーニング、端部強化	5
939	櫛	保存台座作製	5
941	櫛	保存台座作製	5
942	櫛	保存台座作製	5
943	櫛	保存台座作製	5
945	耳飾り	保存台座作製	5
946	耳飾り	保存台座作製	5
947	腕輪	保存台座作製	5
951	腕輪	保存台座作製	5
952	腕輪	全体強化、保存台座作製	5
995	玉類	全体強化、保存台座作製	5
996	玉類	全体強化、保存台座作製	5
997	玉類	全体強化、保存台座作製	5
998	玉類	全体強化、保存台座作製	5
999	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1000	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1001	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1002	玉類	全体強化、保存台座作製	5

ID	資料名	修理概要等	修理
1003	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1004	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1005	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1006	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1007	玉類	全体強化、保存台座作製	5
1008	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1009	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1010	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1011	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1012	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1013	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1014	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
1015	玉類	クリーニング、保存台座作製	5
2021(令和3)年度			
909	樹皮製容器	全体強化、亀裂・孔補填、補彩、保存台座作製	6
910	樹皮製容器	全体強化、亀裂補填、補彩、保存台座作製	6
911	樹皮製容器	全体強化、剥落止め、補彩、保存台座作製	6
912	樹皮製容器	保存台座作製	6
913	樹皮製容器	保存台座作製	6
935	樹皮製容器	全体強化、接合部を再補彩、保存台座作製	6
936	樹皮製容器	全体強化、接合部を再補彩、孔補填、補彩、保存台座作製	6
938	樹皮製容器	クリーニング、欠失部補填、補彩、保存台座作製	6
753	浅鉢形土器	欠失部補填、文様補刻、補彩	6
784	香炉形土器	台部解体修理、亀裂強化、欠失部補填、補彩	6
728	壺形土器	解体・再接合、亀裂補修、欠失部復元、補彩	6
2022(令和4)年度			
724	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
742	鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
743	鉢形土器	破断面強化、亀裂補填、補彩	6
754	浅鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
760	深鉢形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
940	櫛	段面強化、亀裂補填、補彩、保存台座作製	6
944	櫛	段面強化、保存台座作製	6
948	腕輪	段面強化、保存台座作製	6
949	腕輪	段面強化、保存台座作製	6
950	腕輪	段面強化、保存台座作製	6
953	腕輪	段面強化、保存台座作製	6
954	腕輪	段面強化、保存台座作製	6
957	装身具	強化、保存台座作製	6
958	装身具	段面強化、保存台座作製	6
344	藍胎漆器	クリーニング、断面強化、保存台座修正	6
1016	環状石製品	接合面強化、保存台座作製	6
1017	環状石製品	保存台座作製	6
1032	刺突具	保存台座作製	6
1033	刺突具	保存台座作製	6
1034	骨篋	保存台座作製	6
1035	やす先	保存台座作製	6
1036	垂飾	保存台座作製	6
1037	垂飾	保存台座作製	6
1038	弓弭形角製品	保存台座作製	6
1039	弓弭形角製品	強化、保存台座作製	6
2023(令和5)年度			
345	藍胎漆器	クリーニング、全体強化、亀裂補填、補彩、保存台座修正	6
710	壺形土器	解体・再接合、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
716	壺形土器	破断面・亀裂部強化、欠失部補填、補彩	6
748	鉢形土器	破断面・亀裂部強化、欠失部補填、補彩	6

保存修理一覧 (13)

ID	資料名	修理概要等	修理
748	鉢形土器	破断面・亀裂部強化、欠失部補填、補彩	6
757	浅鉢形土器	破断面強化、欠失部補填、補彩	6
759	深鉢形土器	解体・再接合、炭化物剥落止め、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
779	台付土器	炭化物剥落止め、破断面強化、欠失部補填、補彩	6
847	加工木材	高級アルコール法で再処理、小片は接合し本体は4分割のまま、亀裂補填、補彩	6
848	加工木材	段面強化、樹皮剥落止め、亀裂・孔・接合箇所補填、補彩	6
849	加工木材	全体強化、亀裂・孔補填、補彩	6
851	加工木材	端部・亀裂・孔補填、補彩、本体は2分割のまま	6
860	加工木材	高級アルコール法で再処理、本体は2分割のまま、亀裂補填、補彩	6
937	樹皮製容器	裏面強化、孔・亀裂補填、補彩	6
977	石鏃	保存台座作製	6
978	石鏃	保存台座作製	6
979	石鏃	保存台座作製	6
980	石篋	保存台座作製	6
981	石篋	保存台座作製	6
982	石錐	保存台座作製	6
983	石錐	保存台座作製	6
984	石錐	保存台座作製	6
985	石錐	保存台座作製	6
986	石匙	保存台座作製	6
987	石匙	保存台座作製	6
988	異形石器	保存台座作製	6
<b>2024(令和6)年度</b>			
367	飾り太刀	全体強化、亀裂補填、補彩、保存台座修正	6
961	弓	隙間に補填、補彩、保存台座作製	6
964	弓	クリーニング、亀裂・孔・破断面補填、補彩、保存台座作製	6
965	弓	全体強化、孔補填、補彩、保存台座作製	6
969	弓	解体修理、高級アルコール法で再処理、孔・亀裂補填、補彩、保存台座作製	6
970	弓	クリーニング、全体強化、保存台座作製	6

修理業者

- 1：加藤義行（文化財保護委員会嘱託）、2：加藤義行・後藤猛（文化財保護委員会嘱託）、  
3：株式会社東芸、4：株式会社東都文化財保存研究所、5：株式会社芸匠、6：株式会社吉田生物研究所

## 5. 保存台座・保存箱

重要文化財「青森県是川遺跡出土品」のうち一部は、保存修理後の安全な保管と活用のため、資料の形状に合わせた専用の保存台と保存箱を作製している。

保存台は、資料の劣化や損傷を防ぐために作製したものである。大正・昭和年間と平成年間で仕様が異なるが、樹脂製の安定台に資料を設置し、透明な樹脂製の蓋を被せるものであり、資料を台座ごと移動することでリスクの軽減を図るものである。

大正・昭和年間の指定品は、黒紫色の合成樹脂製座板の底に重りを入れ、資料から型を取った硬質の樹脂製安定台を接合したものである。重りは地震による損傷に備え、台座だけで数10kgもある。また、資料をテグスで固定できるよう、座板には穿孔が施され、裏面の金具でテグスを固定できるようになっている。藍胎漆器など資料によっては、資料内面に透明な樹脂製支持具を備えたものもあった。安定台と蓋は精密に加工され、空気を押し出す様にぴったりと嵌合する。

磨製石斧や石製品、土製品は、形状に合わせて桐製の座板を低く彫り込み、L字形の樹脂製の棒で固定している。

保存箱は大正・昭和年間の指定品に作製したものである。会津産桐製の内箱と、柿渋の重ね塗り後に春慶塗りを施した外箱があり、内箱に樹脂製の保存台や、桐板の保存台が収納される。樹脂製保存台の場合は、内箱にビロード張り受け木が設けられる。2段重ねや内箱がある場合、資料に絹布をかけた後、濃紺色ビロード生地、綿入仕立の押布団をのせる。内箱は古代紫に染めた絹製の真田紐で縛り、外箱は茶に染めた綿の真田紐で縛る。

平成年間の指定品は、黒色のアクリル樹脂製座板の底に重りを入れ、資料から型を取ったシリコーン製の軟質安定台を接合したものである。シリコーン製安定台は側面の一部を高くすることにより、資料の転落を防止している。腕輪や櫛、玉類や繊維製品など軽量の資料は、アクリル樹脂製の座板に石粉粘土（樹脂粘土）でくぼみを作り、布を張って安定台（受台）としている。これらの台座には透明アクリル樹脂製の蓋を被せている。

平成年間指定品第3期の保存修理では、大正・昭和年間に作製した台座においてテグスが資料に直接触れているものがあるため、台座の作り直しを進めている。元の硬質安定台を型取りしてシリコーン製の軟質安定台を作製した。資料を安定して設置しながら、損傷を防げる仕様とした。また、元の座板を再利用することにより、保存箱にも収納できるようになっている。

### 1965 年度保存修理 飾り太刀保存台座・保存箱

座板と保存箱を作製、合成樹脂の雌型座板に固定し、合成樹脂製の透明な箱形の覆いを取りつけた。保存箱は会津産桐杙板を使用し、内・外箱とも側板は柄差組・木釘打付け。内箱は印籠蓋造り、外箱は台出し被蓋造り。内箱の内部は四周に濃紺色ビロード張りの受木を設置。箱型の覆いの上には濃紺色ビロード生地、綿入仕立の押布団をのせて動揺を防ぎ、古代紫の本絹真田組紐で葛掛けとした。外箱は内・外面とも下地塗り目止めを施し、柿渋を5回以上塗った後、春慶塗3回に仕上げ、茶色の木綿真田組紐で葛掛けとした。



### 1966 年度保存修理 籠形木製品保存台座・保存箱

座板と保存箱を作製、雌型の合成樹脂製座板に固定、保存箱は二段重ね、印籠蓋造りの一重箱で表面のみ春慶塗。資料は絹布で覆い、上には濃紺色ビロード生地、綿入仕立の押布団をのせて動揺を防ぎ、古代紫の本絹真田組紐で葛掛けとした。



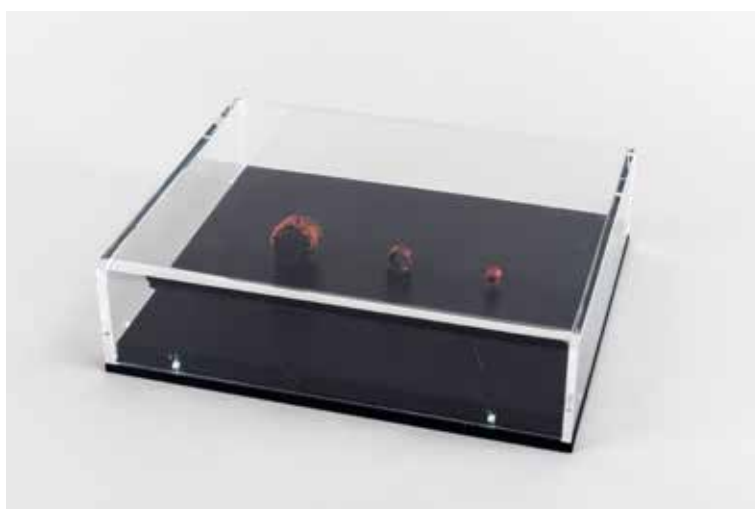
### 1968 年度保存修理 櫛・耳飾り・腕輪保存台座・保存箱

合成樹脂製の雌型の座板にとりつけ、保存箱は三段重・二重箱、会津産桐杙目板を使用し内箱外箱とも側板柄差組木釘打付とした。内箱は三段重ねの印籠蓋造り、各段は四周に附棧を施し、底板上には受木を設けて座板をとりつけたビロード張の台造り板を収納、座板にはプラスチックの箱形の覆いをつけ、濃紺色ビロード生地、綿入仕立の押布団をのせて動揺を防ぎ、古代紫の真田紐の葛掛けにした。外箱は台出し被蓋造りとし、内外面共下地目止塗を施し、柿渋を5回以上塗り春慶塗仕上げにし、茶色木綿真田紐の葛掛けとした。





保存台座 1



保存台座 2



保存台座 3



1995 年度保存修理  
石製品保存台座・保存箱  
箱・台座とも桐材。  
台座は資料形状に合わせて彫り込  
み。

外観



蓋取り外し



台座取り出し



保存台座 1



保存台座 2



保存台座 3



外観

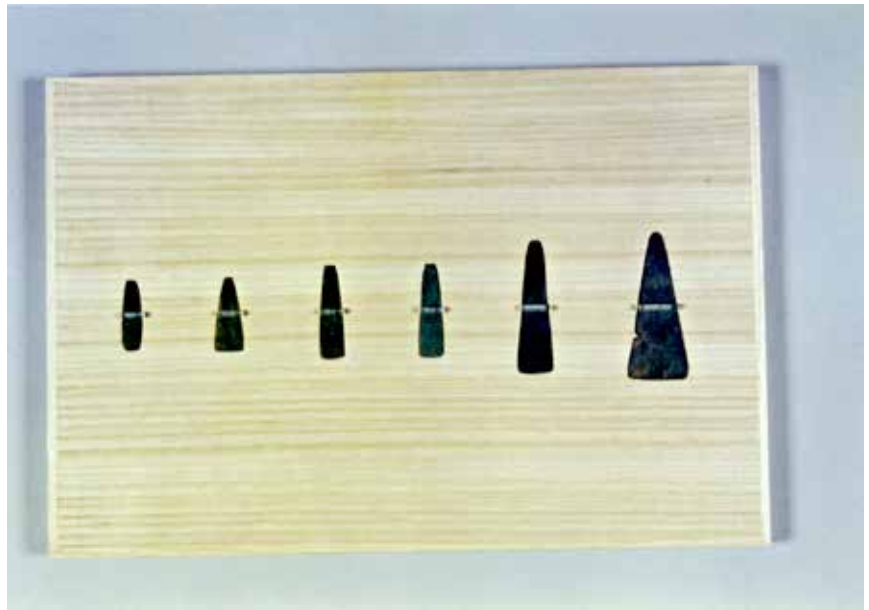
1995 年度保存修理  
石器保存台座・保存箱  
箱・台座とも桐材。  
台座は資料形状に合わせて  
彫り込み。可動式のアクリ  
ルバーで抑える。



蓋取り外し



台座取り出し



保存台座 1



保存台座 2



保存台座 3



## 2020 年度保存修理 玉類保存台座

受台を石粉粘土（樹脂粘土）と人工布製、本体がアクリル製の安定台座を作製。受台を深くし遊動を防ぐ。安定台座は資料の出し入れを考慮し、黒色樹脂のカバーを取り外し式とした。透明アクリル製蓋も資料の遊動を防ぐため低めとした。

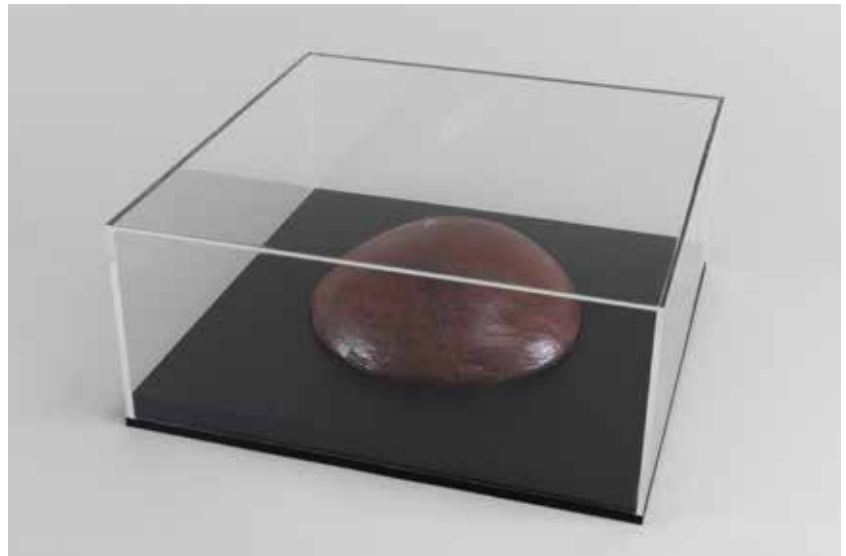


受台（カバー取り外し後）

### 2014 年度保存修理

#### 木胎漆器保存台座

受台は、資料から型をとった黒色のシリコンの雌型を作製。透明アクリル製蓋を被せる。



### 2020 年度保存修理

#### 編布保存台座

台座作成、受台がウレタンと人工布製、本体がアクリル製の安定台座を作製。透明アクリル製蓋を被せる。



受台



2022 年度保存修理  
環状石製品保存台座

受台は、資料から型をとった黒色のシリコンの雌型を作製。透明アクリル製蓋を被せる。



受台



2022 年度保存修理  
腕輪保存台座

受台は、資料から型をとった黒色のシリコンの雌型を作製。透明アクリル製蓋を被せる。

## 6. 収蔵管理

### (1) 収蔵

是川縄文館には前述の資料を収蔵・保管する一般収蔵庫のほか、特別収蔵庫がある。重要文化財（青森県是川遺跡出土品・青森県風張1遺跡出土品）は、消火設備を備え、温度と湿度が一定になるよう管理した特別収蔵庫に収蔵・保管している。

特別収蔵庫の壁は調湿機能を有する素材を用い、収蔵棚は木製の棚板を用いることで湿度が安定するようにした。また、収蔵棚には資料の転落を防ぐため、ベルトを付けている。

### (2) 管理

収蔵資料は、年に1度、全指定品の所在場所と状態を確認している。



資料の収蔵・保管



資料の収蔵・保管

(3) データベース

是川縄文館では、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータをクラウド型データベース（(株) 早稲田システム I.B.MUSEUM SaaS）に格納して運用している。データベースには資料の基礎情報をはじめ、保管場所、修理履歴、活用の履歴を登録している。



データベース検索画面



データベース検索結果

## 7. 参考文献

- 桶川市教育委員会 2021 『未来へ繋ぐ 縄文の美と技』重要文化財埼玉県後谷遺跡出土品保存修理事業
- 八戸市博物館 1992～1997 『年報』No. 9～14
- 八戸市博物館 1985 『縄文の美－是川中居遺跡出土品図録 土器編－』目で見ると八戸の歴史2
- 八戸市博物館 1988 『縄文の美－是川中居遺跡出土品図録 第2集－』目で見ると八戸の歴史5
- 八戸市教育委員会 2011 『縄文の美 是川中居遺跡出土品図録－平成の出土品－』
- 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 2013～2025 『年報』No. 2～14
- 文化財保護委員会 1968 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和40年度
- 文化庁 1969 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和41年度
- 文化庁 1970 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和42年度
- 文化庁 1971 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和43年度
- 文化庁 1974 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和44年度
- 文化庁 1978 『指定文化財修理報告書』美術工芸品篇 昭和45年度



『指定文化財修理報告書』

8. 重要文化財指定書 (1)

考第 二四二号

## 重要文化財指定書

# 陸奥国是川遺跡出土品


一 土器類

- 変形土器 十箇
- 壺形土器 百五箇
- 鉢形土器 八十箇
- 鉢形土器 七箇
- 注口土器 空二箇
- 台付土器 四十箇
- 香爐形土器 七箇
- 釣手付土器 一箇
- 小形土器 十五箇 (以下付書)

右ノ重要文化財に指定す

昭和 三十七年 二月 二日

文化財保護委員会



考第 二四二号

## 重要文化財指定書附書一

一 石器類

- 磨製石斧 五十三箇
- 石鍬 石錐等 七十七箇
- 石級 石棒等 八本
- 青龍刀形石器 一木
- 石皿 敲石等 二十二箇

一 木器類

- 赤漆耳飾 三箇
- 赤漆刺身共 四箇分
- 赤漆柳頭部残骸 四枚分
- 赤漆慶尾様木製器 一木
- 赤漆弓 三張
- 弓残骸共 二張分
- 藍胎漆器 共 二箇分
- 赤漆高杯残骸 一箇分
- 樹皮製茶釜残骸 一箇分
- 鹿形木製品 共 十八枚分

一 漆塗刺身共 一箇

一 土製耳飾 十二箇

一 玉類 五十箇

考第 二四二号

## 重要文化財指定書附書二

一 土偶 残骸共 五十三箇

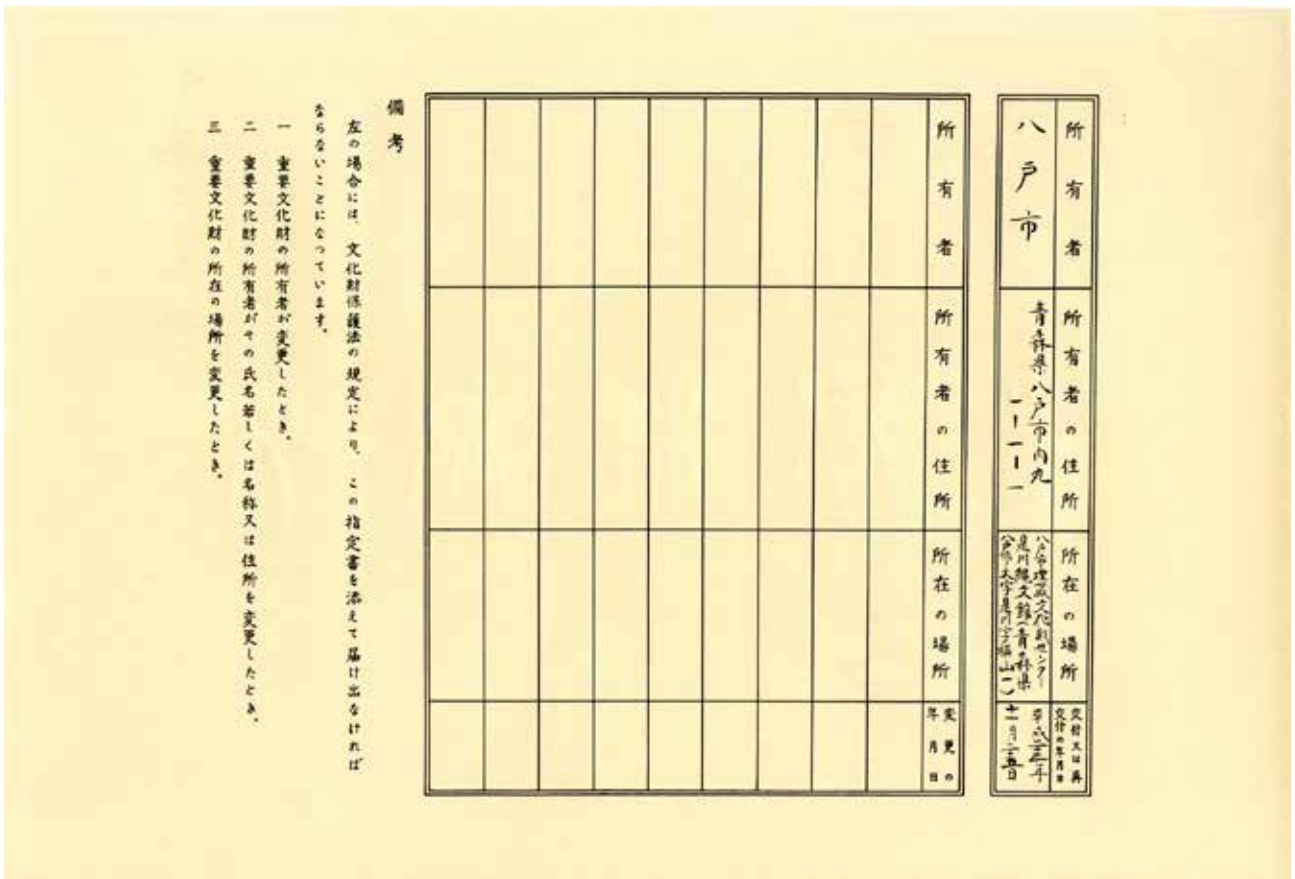
一 土版 残骸 一箇

一 岩版 残骸共 十箇

一 鈴形土製品 一箇

一 草形土製品 三箇

(以上)





重要文化財  
青森県是川遺跡出土品  
保存修理報告書

令和8年3月31日 発行

---

編集

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1

TEL 0178 (38) 9511

